

Technical Guide

この表示価格には消費税は含まれておりません。
保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。

S VHS	業務用電子編集レコーダ	AG-7750
S VHS	業務用電子編集プレーヤ	AG-7650
	タイムコードジェネレータ/リーダー	AG-F700

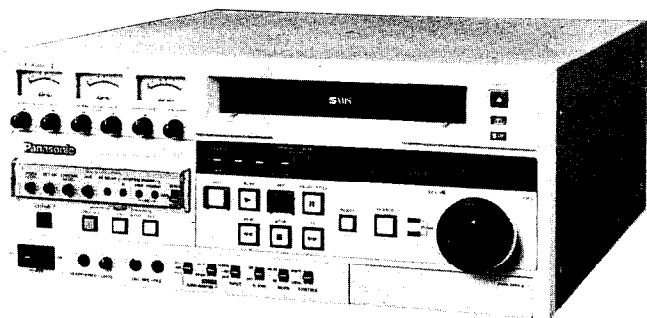
設置・取り扱い編

S PROVIEW

特 長

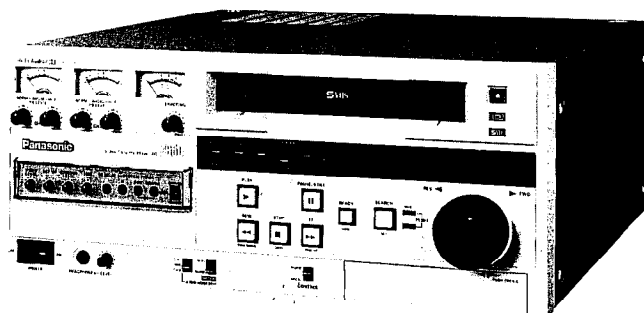
- 高画質 S-VHS 方式
- TBC、DNR 内蔵
- 9 ピンリモート端子装備
- オンスクリーン機能

AG-7750



標準価格 (平成 2 年 11 月現在)
850,000 円

AG-7650



標準価格 (平成 2 年 11 月現在)
650,000 円

AG-F700

標準価格 (平成 2 年 11 月現在)
100,000 円

★本機の外觀、回路、使用部品は性能向上その他により予告なく変更することがあります。

松下電器産業株式会社
オーディオ・ビデオシステム事業部

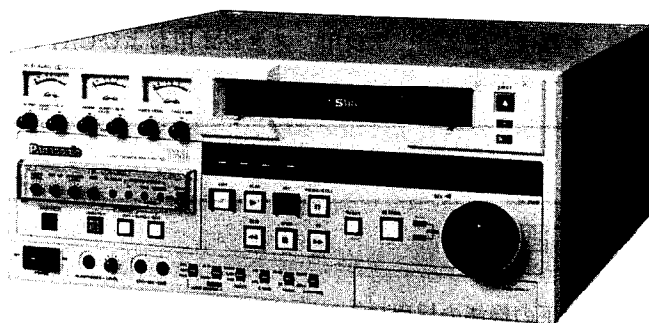
目次

AG-7750	1
AG-7650	1
AG-F700	1
機能解説	1-1
コネクタの信号について	1-10
付属品と別売品のご紹介	1-11
寸法図	1-12
Technical Information	1-13
1. フルローディング方式について	1-13
2. 安全保護機能	1-13
3. TBC 動作説明	1-14
4. AG-7750 の AUDIO REC について	1-16
5. システム接続について	1-18
6. 34P リモート端子について	1-22
7. エクステンションボード (延長基板) について	1-23
8. タイムコード基板 (AG-F700) の取り付けかた (AG-7750/7650)	1-24

業務用電子編集レコーダ AG-7750 S VHS

特 長

- S-VHS 方式による高解像度で鮮明な画質
- TBC によるジッターの抑えられた画質
- DNR による S/N 比の良い画質
- ビデオ出力回路にロジカルコムフィルター採用



標準価格 (平成 2 年 11 月現在)
850,000 円

仕 様 (定格)

【一 般】

電 源 : AC 100V 50/60Hz
 消 費 電 力 : 約 100W (単体)
 約 105W (AG-A750 接続時)
 録 画 方 式 : 回転 2 ヘッドアジマス
 S-VHS 規格/VHS 規格
 テ ー プ 速 度 : 33.35mm/sec (通常時)
 使 用 テ ー プ : VHS テープ、S-VHS テープ
 録 画 時 間 : 120 分 (NV-T120 使用時)
 早送り・巻戻し時間 : 約 2 分 (NV-T120 使用時)
 許容周囲温度 : 5°C~40°C
 許容周囲湿度 : 35%~80%
 重 量 : 約 17kg

【映 像】

テレビジョン方式 : NTSC テレビジョン方式 525 本 60 フィールド
 変 調 方 式 : 輝度信号 ; 周波数変調方式
 色信号 ; 低域変換 $\pi/2$ 位相
 入 力 / 出 力 : ライン (BNC) : 1.0Vp-p 75 Ω
 ダビング (7P) : Y ; 1.0Vp-p 1k Ω
 C ; 0.9Vp-p 1k Ω (シアン)
 S-VIDEO (4P) : Y ; 1.0Vp-p 75 Ω
 C ; 0.286Vp-p 75 Ω
 (バースト)

水 平 解 像 度 : VHS ; 白黒 300 本/カラー 240 本
 S-VHS ; 400 本以上 (白黒・カラー)
 S / N : VHS ; 46dB (カラーモード)

【音 声】

入 力 : ライン Hi-Fi (XLR) ; +4/0/-6dBs 600 Ω
 ライン NORM (XLR) ; +4/0/-6dBs 600 Ω
 マイク ; -60dBv 4.7k Ω 不平衡
 タイムコード (BNC) ; 1.0Vp-p 10k Ω 不平衡
 出 力 : ライン Hi-Fi (XLR) ; +4/0/-6dBs
 出力インピーダンス 50 Ω
 ライン NORM (XLR) ; +4/0/-6dBs
 出力インピーダンス 50 Ω
 モニタ ; 0dBv 600k Ω 不平衡
 タイムコード (BNC) ; 2.4Vp-p ローインピー
 ダンス 不平衡

ト ラ ッ ク 数 : 4 トラック
 (NORM 音声 2 トラック・Hi-Fi 音声 2 トラック)
 S / N : 48dB 以上
 (DOLBY NR スイッチ「ON」ノーマル音声時)

Hi-Fi ダイナミックレンジ : 90dB 以上
 音声周波数特性 : 50Hz~12kHz (ノーマル音声)
 20Hz~20kHz (Hi-Fi 音声)

はじめに

このたびは、
業務用高級編集機 AG-7750を
お求めいただきまして
まことにありがとうございました。

本機は、産業用、学校用、スタジオ用およびCATV送出用を対象に開発された編集用ビデオカセットレコーダです。

高画質

以下の機能の採用により、美しい画質が得られます。

- S-VHS方式による、高解像度で鮮明な画質
- TBC(タイムベースコレクタ)による、ジッターの抑えられた画質
- DNR(デジタルノイズレデューサ)による、通常画質より1世代S/N比の良い画質
- ビデオ出力回路にロジカルコムフィルターを採用することにより、ダビング時の色ダレをなくしました。

高信頼性メカニズム

AIサーボによる大径キャプスタン、2リールモータ駆動方式、DDシリンダなどの高信頼性メカニズムの採用で高度な編集が可能になりました。

また、クリーニング機構により、ビデオヘッドのよごれなども軽減されます。

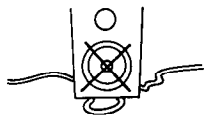
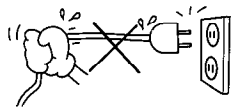
多彩なシステムアップ性

本機は、編集コントローラAG-A800(RS-422A、9ピンシステム)やAG-A750(34ピンシステム)を接続することにより、編集機の機能を十分に生かし、精度の高い自動編集を行うことができます。

また、編集コントローラAG-A650、NV-A500、NV-A505などとの編集システムを組むこともできます。

安全上のご注意

電源はAC100Vをご使用ください。



- 電源プラグは必ずプラグを持って抜き差ししてください。
- 電源コードは熱器具に近づけないでください。
- 電源コードに重いものを乗せないでください。
- 電源コードを加工しないでください。

異物を入れないでください。

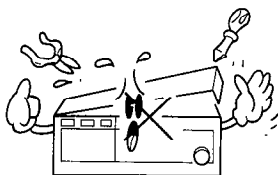


本機の開口部(カセット挿入部など)から金属などを差し込んだり、落とし入れたりしないでください。

異物が本機内部に入った場合は、お買上げ販売店にご連絡ください。

そのまま使用されると火災、感電の原因になります。

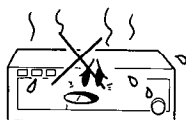
分解しないでください。



内部には高電圧がかかっている箇所がありますので、手を触れると危険なうえ、故障の原因にもなります。

内部の点検、調整はお買上げ販売店にご依頼ください。

故障状態で使用すると危険です。



煙が出ている、変な音やにおいがするなどの場合は、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

目次

各部の名称

前面パネル	6
カウンタディスプレイ部	9
後面パネル部	10

基本操作

電源投入のしかた	12
カセット挿入のしかた	13
記録のしかた	14
再生のしかた	16
早送り・巻戻し・停止・一旦停止のしかた	18
サーチ操作について	19
AUTO STOP機能について	20

各種スイッチ設定

音声系のスイッチ設定	21
1. METERスイッチ	21
2. AUDIO MONITORスイッチ	21
3. AUDIO OUT SELECTスイッチ	21
4. Hi-Fi RECスイッチ	21
映像系のスイッチ設定	22
1. DNRスイッチ	22
2. VIDEO AGCスイッチ	22
3. IMAGEスイッチ	23
4. MODEスイッチ(ポケット部)	23
5. MODEスイッチ(フロント部)	23
その他のスイッチ設定	24
1. INPUTスイッチ	24
2. S-VHSスイッチ	24
3. CONTROLスイッチ	24
4. SYNC SELECTスイッチ	25
5. ON-SCREENスイッチ	25

TBCの調整

TBC(タイムベースコレクタ)の調整	26
--------------------	----

編集操作

編集操作を行う前に	30
編集モードの選択	31
手動編集の実行	32
AUTO CUT OUT編集(簡易自動編集)	33
スプリット編集のしかた	35
編集時のご注意	36

ダイヤルメニュー機能

ダイヤルメニュー機能の操作	37
SETUP-MENU画面について	40
1. 操作・機能関係のセットアップ	40
2. スーパーインポーズ関係のセットアップ	42
3. リモート関係のセットアップ	43
4. 編集関係のセットアップ	44
5. タイムコード関係のセットアップ	45

タイムコード

タイムコード/ユーザーズビットについて	47
タイムコード関係のスイッチ設定	48
タイムコード/ユーザーズビットの記録	50
タイムコード/ユーザーズビットの再生	51
スーパーインポーズ画面について	52

接続

基本システムの接続	54
ダビング接続	55

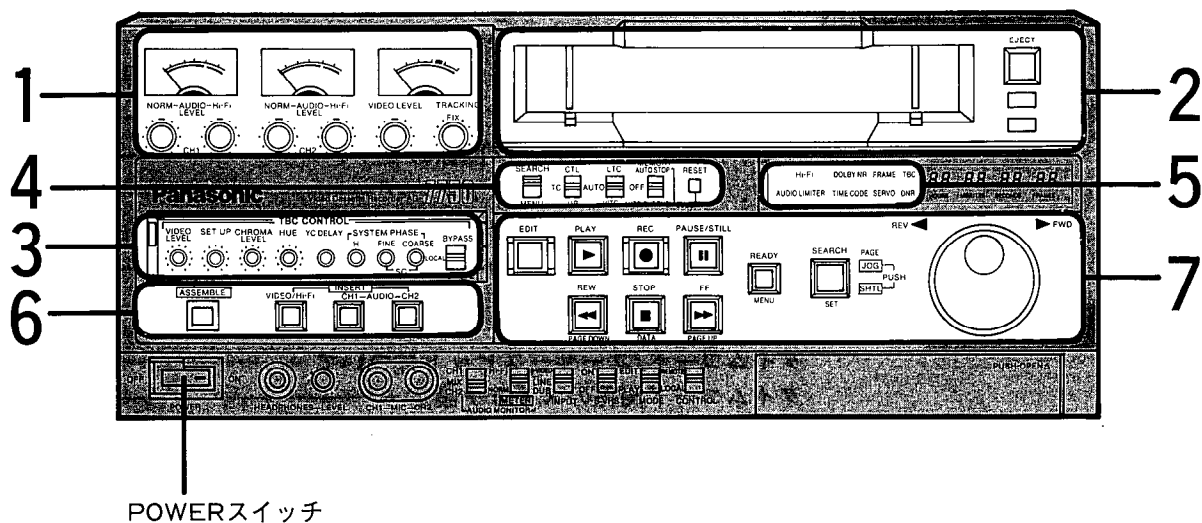
システムアップ

9P編集コントローラを使ったシステム	56
リモートサーチコントローラを使ったシステム	58
34P編集コントローラを使ったシステム	59
業務用MⅡ機を使ったシステム	60

異常事態

エラー表示について	61
故障かな?と思う前に…ちょっと!	62

前面パネル部



*〔 〕内の数字は参照ページです。

1 レベル調整部

- AUDIO(CH1)LEVELメータ ————— CH1音声レベルを表示〔15〕
- AUDIO(CH2)LEVELメータ ————— CH2音声レベルまたはTCを表示〔15〕
- VIDEO LEVEL/TRACKINGメータ ———— 記録時はビデオレベル表示〔14〕
再生時はトラッキング表示〔17〕
- AUDIO(CH1)NORMAL LEVELつまみ ——— ノーマル音声CH1の録音レベル調整〔15〕
- AUDIO(CH1)Hi-Fi LEVELつまみ ————— Hi-Fi音声CH1の録音レベル調整〔15〕
- AUDIO(CH2)NORMAL LEVELつまみ ——— ノーマル音声CH2の録音レベル調整〔15〕
- AUDIO(CH2)Hi-Fi LEVELつまみ ————— Hi-Fi音声CH2の録音レベル調整〔15〕
- VIDEO LEVEL調整つまみ ————— 映像入力レベル調整の調整〔14〕
- TRACKING調整つまみ ————— トラッキングの調整〔17〕

2 カセット関係部

- カセット挿入口 ————— カセットを挿入します。〔13〕
- EJECTボタン ————— カセットの取り出し〔13〕
- カセットインランプ ————— カセット挿入時に点灯〔13〕
- S-VHSランプ ————— S-VHSモード時に点灯

3 TBC CONTROL部

- VIDEO LEVELボリューム ————— ビデオレベルの調整〔27〕
- SET UPボリューム ————— セットアップレベルの調整〔27〕
- CHROMA LEVELボリューム ————— クロマレベルの調整〔27〕
- HUEボリューム ————— ヒューの調整〔27〕
- YC DELAYボリューム ————— YCタイミングの調整〔28〕
- SYSTEM PHASEボリューム ————— システム位相の調整〔29〕
- BYPASSスイッチ ————— TBCの使用モード切り替え〔27〕

4 機能設定部

- サーチダイヤルモードスイッチ ———— サーチダイヤルの動作モード切り替え〔13,37〕
DISPLAYスイッチ ———— ディスプレイ表示モードの切り替え〔48〕
TIME CODEモードスイッチ ———— タイムコードの読み取りモードの切り替え〔48〕
MEMORYスイッチ ———— テープ位置の記憶〔20,33〕
RESETボタン ———— CTLカウンタのリセット〔20〕

5 機能表示ランプ部


- Hi-Fiランプ ———— Hi-Fi音声記録・再生時点灯
DOLBY* NRランプ ———— ドルビーNRシステム使用時点灯〔41〕
FRAMEランプ ———— フレーミングサーボロック時に点灯
TBCランプ ———— TBC使用時に点灯
AUDIO LIMITERランプ ———— 音量制限回路使用時に点灯〔41〕
TIME CODEランプ ———— ノーマル音声CH2トラックをタイムコードトラックとして使用時に点灯
SERVOランプ ———— サーボロック時に点灯
DNRランプ ———— デジタルノイズレデューサ使用時に点灯〔22〕

6 編集モード設定部

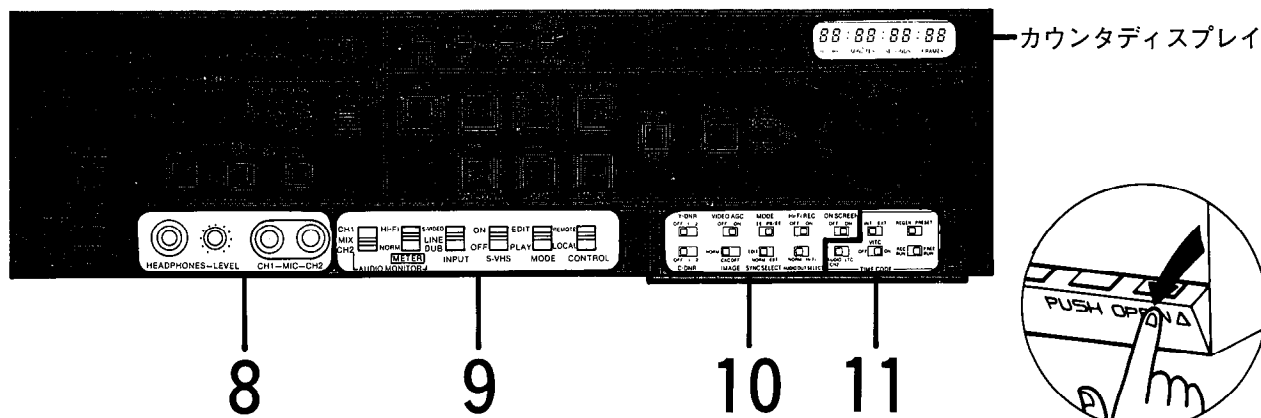
- ASSEMBLEボタン ———— アSEMBル編集の設定〔31〕
INSERT VIDEO/Hi-Fiボタン ———— 映像信号/Hi-Fi音声のインサート編集〔31〕
INSERT AUDIO(CH1)ボタン ———— ノーマル音声CH1のインサート編集〔31〕
INSERT AUDIO(CH2)ボタン ———— ノーマル音声CH2(またはLTC)のインサート編集〔31〕

7 基本操作部

- EDITボタン ———— PLAYボタンと同時使用で編集開始〔32〕
PLAYボタン ———— 再生開始〔16〕
RECボタン ———— PLAYボタンと同時使用で録画開始〔14〕
PAUSE/STILLボタン ———— 再生時は静止画、録画時は一時停止〔18〕
REW(PAGE DOWN)ボタン ———— テープの巻戻し〔18〕
MENUモード時は、ページダウン〔37〕
STOP(DATA)ボタン ———— すべての動作の停止〔18〕
MENUモード時は、DATA設定〔38〕
FF(PAGE UP)ボタン ———— テープの早送り〔18〕
MENUモード時は、ページアップ〔37〕
READY(MENU)ボタン ———— テープ保護モード(READY OFF)への移行・解除〔40〕
MENUモード時は、メニューの表示〔37〕
SEARCH(SET)ボタン ———— サーチの実行・解除〔19〕
MENUモード時は、メニューの設定〔39〕
SEARCHダイヤル ———— サーチ速度の調整〔19〕
MENUモード時は、メニューの選択〔37〕

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

前面パネル部(つづき)



*〔 〕内の数字は参照ページです。

押すと開きます。

8 ヘッドホン・マイク部

- HEADPHONE端子 ————— M6のステレオヘッドホン用接続端子〔17〕
- HEADPHONE LEVEL調整つまみ ————— ヘッドホンの音量調整〔17〕
- MIC端子(CH1/CH2) ————— M6外部マイク用接続端子〔54〕

9 機能設定部

- AUDIO MONITOR METERスイッチ ————— モニタ音声の種類、チャンネル選択〔21〕
- INPUTスイッチ ————— 映像入力信号の切り替え〔24〕
- S-VHSスイッチ ————— S-VHS方式記録の設定〔24〕
- MODEスイッチ ————— 編集時の切り替え〔23〕
- CONTROLスイッチ ————— リモート/ローカル状態の切り替え〔24〕

10 ポケット内機能設定部

- Y-DNRスイッチ ————— Y信号用DNR作動スイッチ〔22〕
- C-DNRスイッチ ————— C信号用DNR作動スイッチ〔22〕
- VIDEO AGCスイッチ ————— ビデオレベルの自動調整機能のON/OFF〔22〕
- IMAGEスイッチ ————— ビデオモードの切り替え〔23〕
- MODEスイッチ ————— テープ停止時の画像切り替え〔23〕
- SYNC SELECTスイッチ ————— 同期信号の切り替え〔25〕
- Hi-Fi RECスイッチ ————— Hi-Fi音声の記録(映像信号と同時に)〔21〕
- AUDIO OUT SELECTスイッチ ————— 出力音声の種類を選択〔21〕
- ON SCREENスイッチ ————— モニタテレビにデータ表示〔25〕

11 タイムコード設定部

- AUDIO CH2/LTCスイッチ ————— タイムコードの記録チャンネル選択〔48〕
- INT/EXTスイッチ ————— 外部・内部タイムコードの切り替え〔49〕
- VITCスイッチ ————— VITC記録モードのON/OFF〔48〕
- REGEN/PRESETスイッチ ————— リジェネモードの切り替え〔49〕
- REC RUN/FREE RUNスイッチ ————— タイムコードの記録モード切り替え〔49〕

カウンタディスプレイ部

サーチダイヤルモードスイッチが「SEARCH」の場合

DISPLAY スイッチ	カウンタディスプレイ表示	備考
CTL	- 0 : 00 : 00 : 00 HOURS MINUTES SECONDS FRAMES	[] 部分は、 DFで[.] NDFで[:] CTL補間時で[]になり ます。
TC	00 : 00 : 00 : 00 HOURS MINUTES SECONDS FRAMES	
UB	00 00 00 00	

●「TC」、「UB」は別売品AG-F700が装着時のみ表示可能です。

サーチダイヤルスイッチが「MENU」の場合

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
SELECT PAGE	5U : 00 00	[] 部分は、点滅表示 です。
SET PAGE	5U : 00 00 . 00	
TC PRESET	00 : 00 : 00 : 00 HOURS MINUTES SECONDS FRAMES	入力桁が点滅表示しま す。
UB PRESET	00 00 00 00	

●「TC PRESET」、「UB PRESET」は別売品AG-F700が装着時のみ表示可能です。

アワーメータのディスプレイ表示

RESETボタンを押している間以下の項目が交互に表示されます。

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
キャプスタン 回転積算時間	c 00 00 04	CONTROLスイッチを REMOTE側にして、 サーチダイヤルモード スイッチをMENU側に します。
総ドラム 回転積算時間	d 00 00 04	

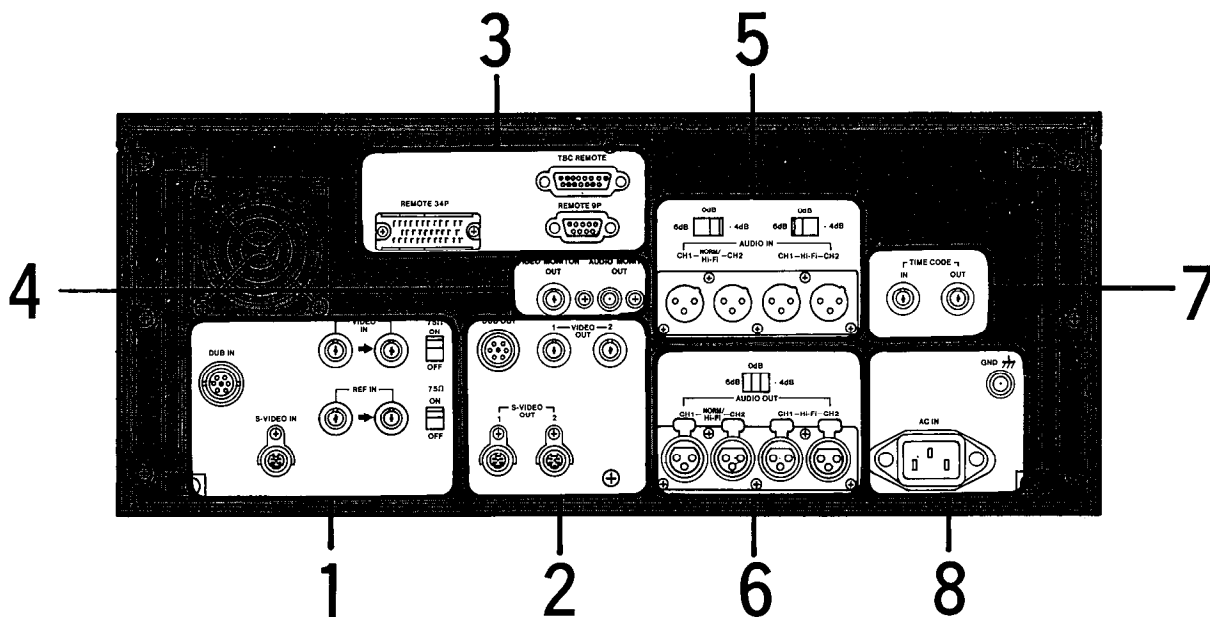
VITC POSITION表示

RESETボタンを押している間以下の項目が表示されます。

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
VITCの位置が読み 取れた場合	00 . 00 L	CONTROLスイッチを REMOTE側にして、 サーチダイヤルモード スイッチをSEARCH側 にします。
VITCの位置が読み 取れなかった場合	- - . - - L	

●別売品AG-F700が装着時のみ表示可能です。

後面パネル部



* ()内の数字は参照ページです。

1 映像入力信号部

- DUB IN端子 ————— 7Pダビングケーブル用入力端子〔55〕
- S-VIDEO IN端子 ————— S-VIDEO信号の入力端子〔55〕
- REF IN端子 ————— 外部基準信号(ブラックバーストやカラーバー信号)の入力端子(ループスルー75Ω終端スイッチ付)
- VIDEO IN端子 ————— 映像信号の入力端子(ループスルー75Ω終端スイッチ付)

2 映像出力信号部

- DUB OUT端子 ————— 7Pダビングケーブル用出力端子〔55〕
- S-VIDEO OUT端子 ————— S-VIDEO信号の出力端子〔55〕
- VIDEO OUT (1,2) 端子 ————— 映像信号の出力端子

3 リモート信号部

- REMOTE 34P端子 ————— 編集コントローラ(34P)などの接続端子〔59〕
- TBC REMOTE端子 ————— TBCリモートコントローラの接続端子〔27〕
- REMOTE 9P端子 ————— 編集コントローラ(9P)などの接続端子〔56〕

4

モニタ出力信号部

VIDEO MONITOR端子 ————— 映像モニタ信号の出力端子

AUDIO MONITOR端子 ————— 音声モニタ信号の出力端子

5

音声入力信号部

入力音声レベルスイッチ ————— 入力レベル-6/0/+4dBsに切り替えます。

NORM/Hi-Fi音声入力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声(CH1/2)の入力端子

Hi-Fi音声入力端子 ————— Hi-Fi音声専用入力端子

6

音声出力信号部

出力音声レベルスイッチ ————— 出力レベル-6/0/+4dBsに切り替えます。

NORM/Hi-Fi音声出力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声(CH1/2)の出力端子

Hi-Fi出力端子 ————— Hi-Fi音声専用出力端子

7

タイムコード信号部

TIME CODE IN端子 ————— タイムコード信号の入力端子

TIME CODE OUT端子 ————— タイムコード信号の出力端子

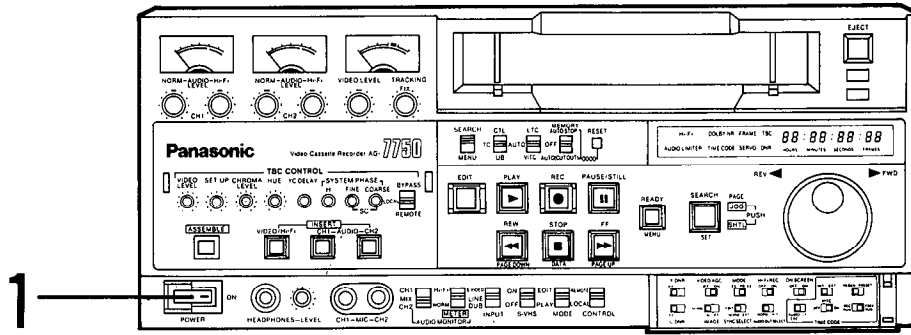
8

電源回路部

GND端子 ————— 他の機器と接続する場合は、必ずアース接続を行ってください。

AC IN端子 ————— AC 100Vの電源コンセントに接続

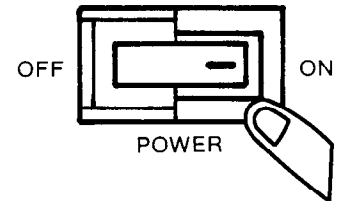
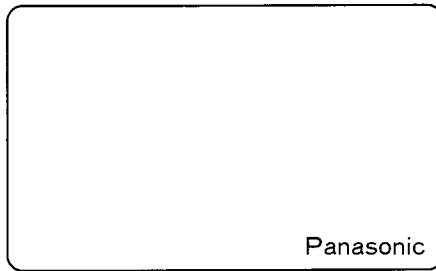
電源投入のしかた



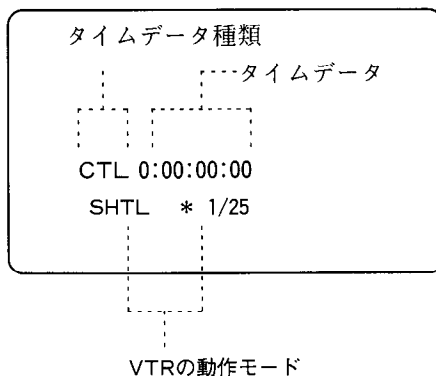
1 POWERスイッチを押します。

電源が入ります。

- 後面のVIDEO MONITOR OUT端子からの映像に、「Panasonic」のロゴをスーパーインポーズします。



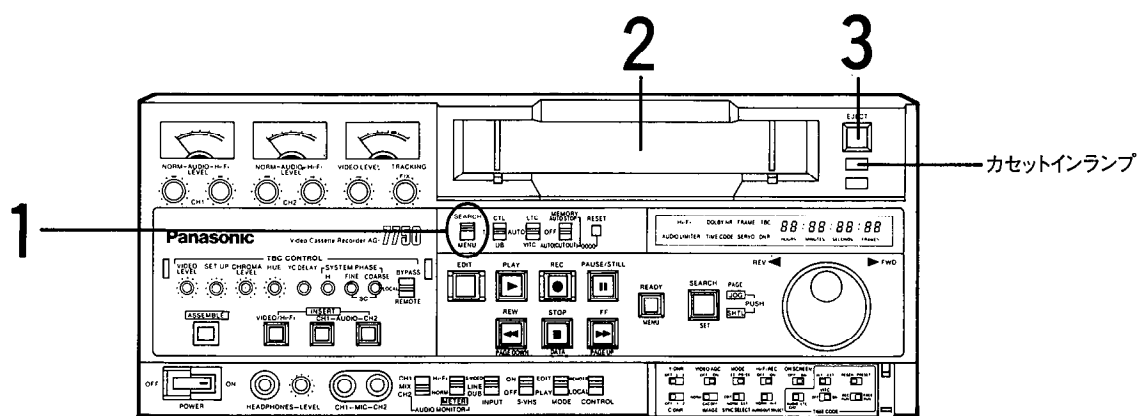
- なにか操作すると、表示は消えます。
(ポケット部のON-SCREENスイッチが「ON」の場合は、以下のような表示になります。)



VTRの動作モードは、ダイヤルメニュー機能の項目(NO.2004)が「ON」の場合のみ表示されます。

- ご注意** ■エラー表示がディスプレイに出ている場合は、ただちに操作を止め61ページをお読みください。

カセット挿入のしかた



1 サーチダイヤルモードスイッチを「SEARCH」側にします。

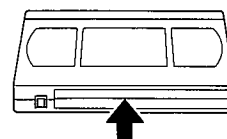
- サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」側になっていると、ダイヤルメニュー機能以外の操作は行えなくなります。



2 カセットテープを挿入するには

カセット挿入口にカセットを入れ、カセットの中央部をゆっくり押しします。

カセットインランプが点灯します。

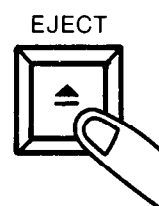


3 カセットテープを取り出すには

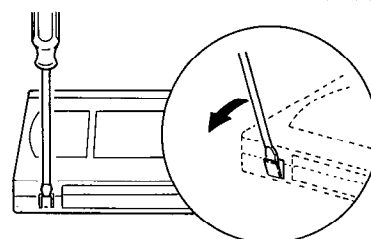
EJECTボタンを押します。

カセットが出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

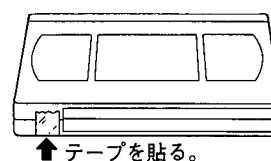
カセットインランプが消灯します。



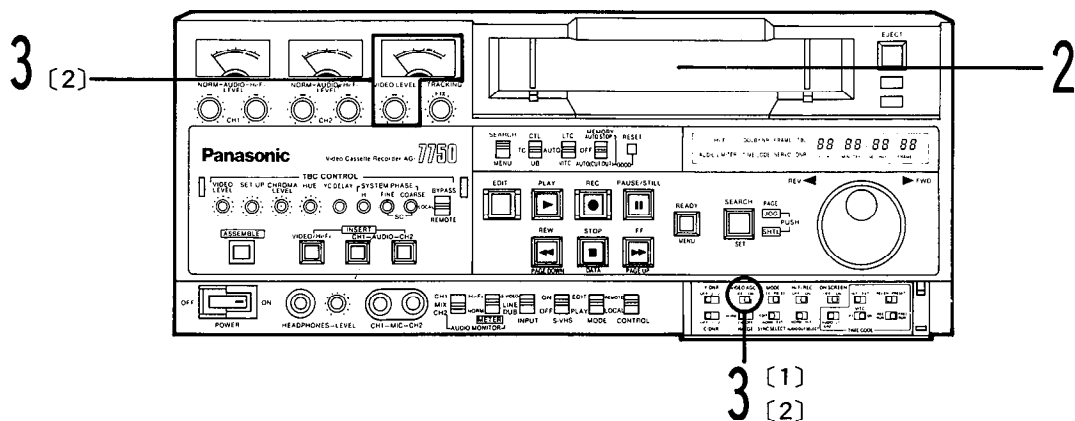
ご注意 誤記録防止のためには
つめを折ると、録画が禁止されます。



再度記録する場合
折れたつめの部分に、セロハンテープを貼ります。



記録のしかた



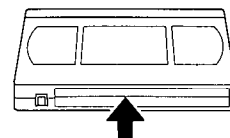
1 各スイッチ設定をします。(21~25ページ参照)

CONTROLスイッチ ⇒ 「LOCAL」

DIAL SELECTスイッチ ⇒ 「SEARCH」

2 カセットを挿入します。(13ページ参照)

記録用カセットは、誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



3 録画レベルを調整します。

[1] 自動調整の場合

VIDEO AGCスイッチを「ON」にしてください。
録画レベルが自動的に調整されます。

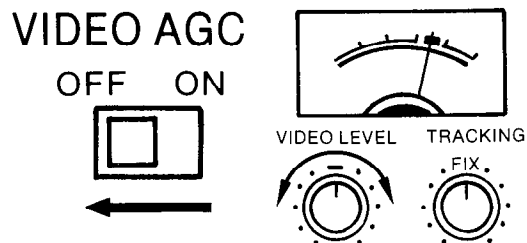


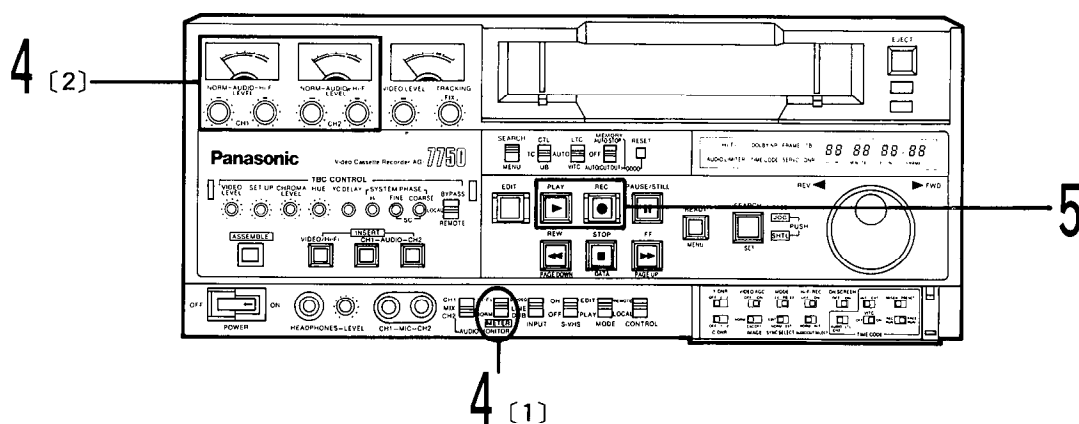
[2] 任意調整の場合

VIDEO AGCスイッチを「OFF」にしてください。
VIDEO LEVEL調整つまみを回します。

適性録画レベルはメータの青色部分です。

■VIDEO LEVEL/TRACKINGメータは、記録時には録画レベルを表示します。





4 音声記録レベルを調整します。

[1] 調整する音声の選択

METERスイッチを切り替えます。

Hi-Fi：Hi-Fi音声レベルがメータに表示されます。

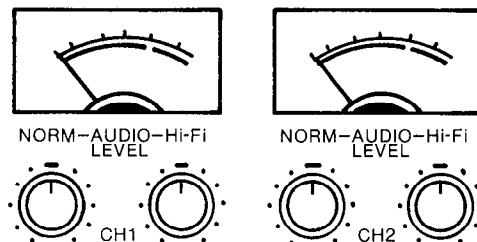
NORM：ノーマル音声レベルがメータに表示されます。



[2] レベルの調整

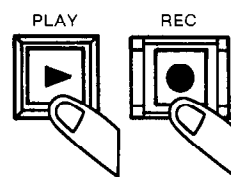
各レベル調整つまみを回して、レベルメータの「0」の位置を超えない範囲で、最も大きい値に調整します。

■ノーマル音声レベル調整は、ダイヤルメニュー機能「AUDIO LIMITER」(項目NO.1011)を「OFF」にしてから行ってください。



5 RECボタンを押しながらPLAYボタンを押します。

記録が開始されます。



ご注意

■AUDIO LIMITER機能、ドルビーNRシステムを作動させる場合は、ダイヤルメニュー機能で設定します。(41ページ参照)

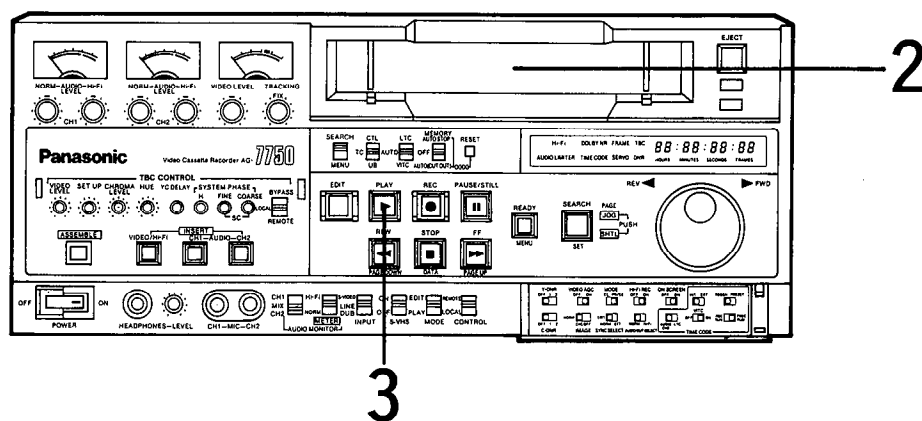
- AUDIO LIMITER機能を作動させると、記録時に過大入力があっても、自動音量制限回路が働いて歪みのない音声を記録できます。
- ドルビーNRシステムを作動させると、雑音の少ない録音再生ができます。

■Hi-Fi音声を記録する場合は、ポケット部のHi-Fi RECスイッチを「ON」にします。

■ダイヤルメニュー機能「Hi-Fi REC SELECT」(項目NO.1013)でHi-Fi音声の入力端子を切り替えることができます。

■Hi-Fi音声を記録しない場合は、レベル調整を「0」にするだけでは不十分ですので、必ずHi-Fi RECスイッチを「OFF」にしてください。

再生のしかた



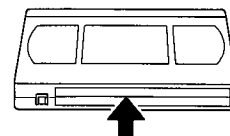
1 各スイッチ設定をします。(21～25ページ参照)

CONTROLスイッチ ⇒ 「LOCAL」

DIAL SELECTスイッチ ⇒ 「SEARCH」

2 カセットを挿入します。(13ページ参照)

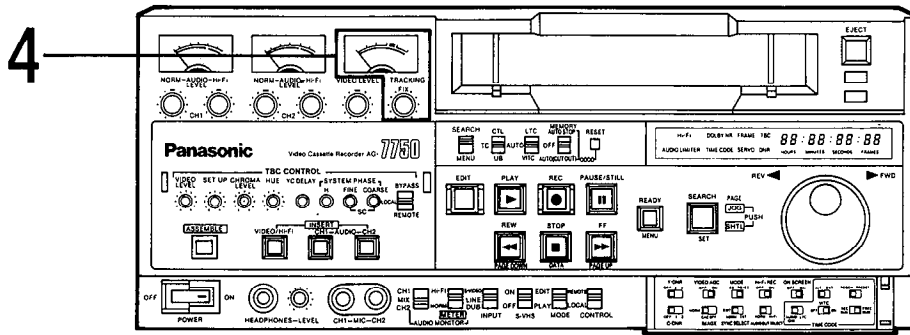
既に、映像・音声記録されているテープを挿入します。



3 PLAYボタンを押します。

再生が開始されます。





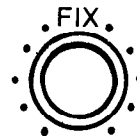
4

トラッキングを調整します。

[1] 通常は

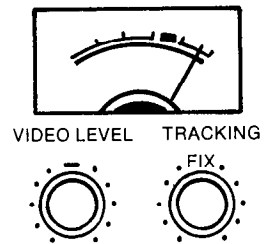
TRACKING調整つまみを中央のFIX点で再生を行ってください。

TRACKING



[2] 本機以外のVTRで記録されたテープを再生する場合

TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、TRACKINGメータの針が最大になるように調整します。

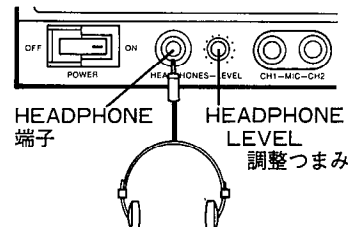


ご注意

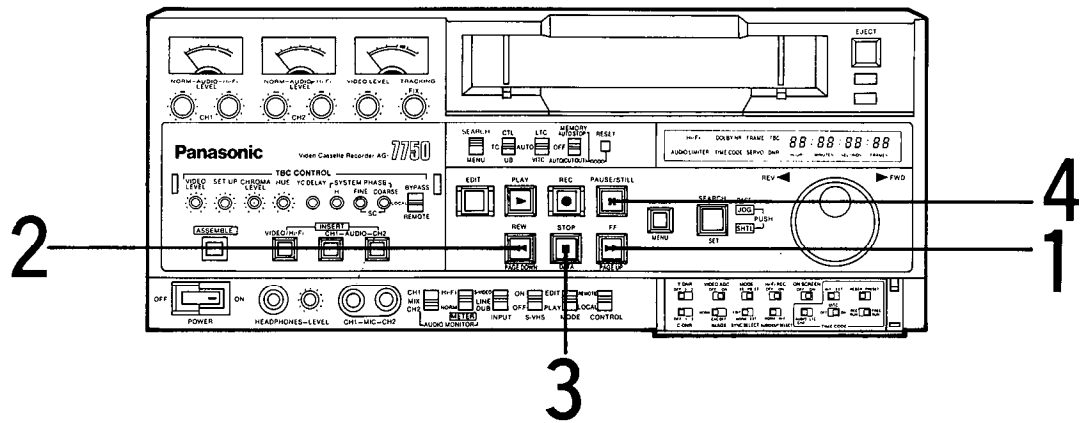
■ドルビーNRシステムで記録されたテープを再生する場合は、ダイヤルメニュー機能でドルビーNRシステムONの設定をします。(41ページ参照)

■再生時にトラッキングがずれると、Hi-Fi音声記録されていても、Hi-Fiランプは消灯しHi-Fi音声は出力されません。

■ヘッドホンを使用する場合
ハイインピーダンスのヘッドホンを接続すると、音量レベルが変わる場合があります。

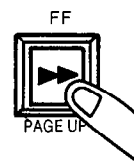


早送り・巻戻し・停止・一時停止のしかた



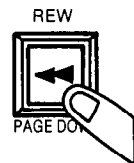
1 早送りのしかた

FFボタンを押します。



2 巻戻しのしかた

REWボタンを押します。

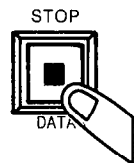


3 停止のしかた

STOPボタンを押します。

■STOPボタンが点灯し、すべての動作が停止します。

■MODEスイッチ(ポケット部)が「EE」の場合、モニタテレビにはE-E系画像が現れます。

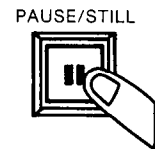


4 一時停止のしかた

記録・再生中にPAUSE/STILLボタンを押します。

■再生時は、PLAY/STILL状態になり静止画像が再生されます。

■記録時は、REC/PAUSE状態になり記録が一時停止します。



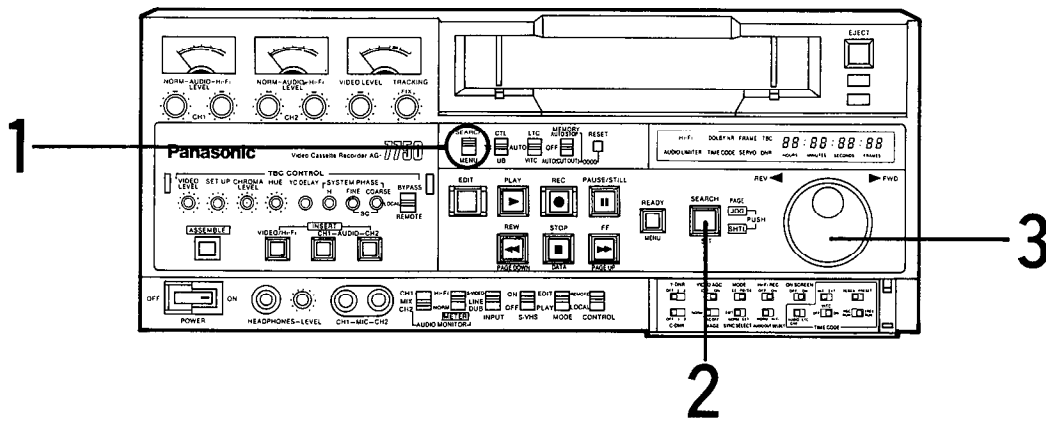
ご注意

■CONTROLスイッチは「LOCAL」にします。

■DIAL SELECTスイッチは「SEARCH」にします。

■STOP、PAUSE/STILL状態を設定時間以上(ダイヤルメニュー機能で設定可能)続けると、自動的にテープ保護モードになります。(ダイヤルメニュー機能項目NO.1001~1003、40ページ参照)

サーチ操作のしかたについて

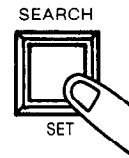


1 サーチダイヤルモードスイッチが「SEARCH」側であることを確認してください。



2 SEARCHボタンを押します。

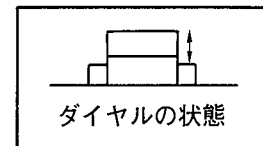
SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。



3 サーチダイヤルを操作します。

サーチダイヤルを押すごとに、JOGモードとSHUTTLEモードが入れ替わります。

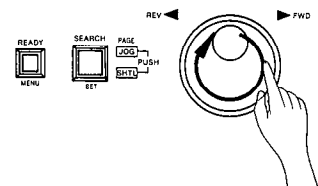
■右に回すと正方向再生(FWDランプ点灯)、左に回すと逆方向再生(REVランプ点灯)になります。



[1] JOGモードの場合

ダイヤルを回す速度に応じて、静止画～±1倍速再生まで操作できます。

回転を止めると、常に静止画像になります。

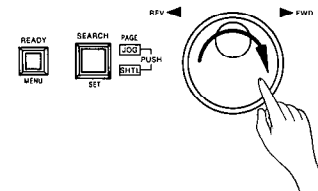


[2] SHUTTLEモードの場合

ダイヤルの回す角度に応じて、0～±32倍速まで再生速度を操作できます。

(ただし、テープの始末端付近では、テープ保護のため低速サーチ状態になります。)

中央位置(クリック点)では静止画像になります。

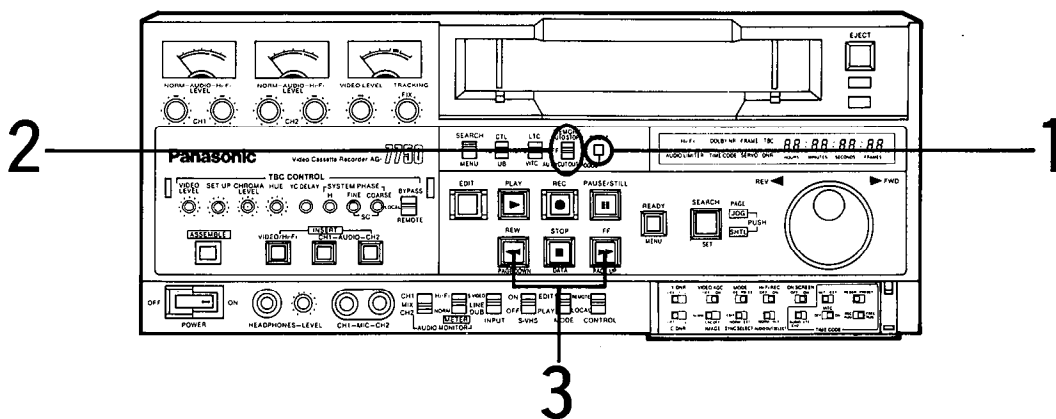


ご注意 ■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしておきます。

■SHUTTLEモードの場合、再度電源を入れたときは、ダイヤルを中央位置(クリック点)まで一度戻してから操作してください。

■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、ダイヤルメニュー機能「DIRECT SEARCH」(項目NO. 1005)を「ON」にします。(40ページ参照)

AUTO STOP 機能について



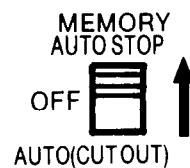
1 自動停止させたい位置でRESETボタンを押します。

テープカウンタが「0:00:00:00」になります。

RESET



2 MEMORYスイッチを「AUTO STOP」側にします。



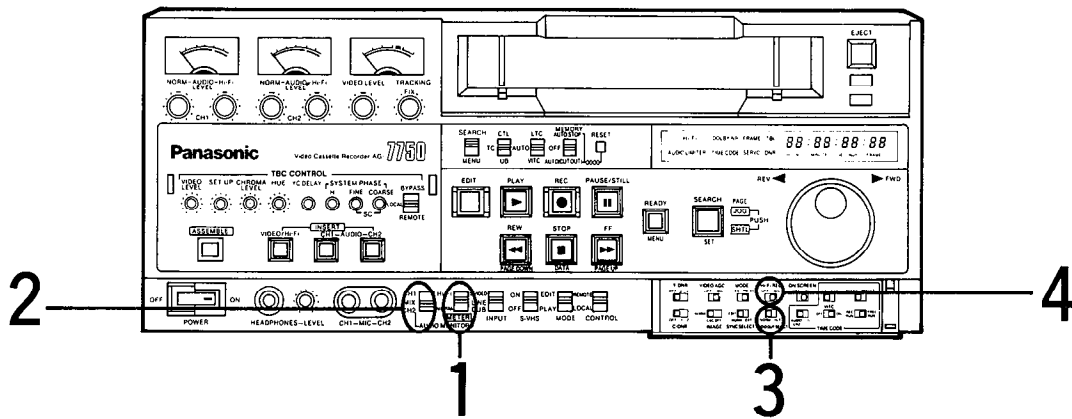
3 早送り、巻戻しを行います。

テープカウンタが「0:00:00:00」付近になると、自動停止します。



- ご注意** ■AUTO STOP機能は以下の場合働きません。
- CONTROLスイッチが「REMOTE」の場合
 - DISPLAYモードスイッチが「CTL」以外の場合

音声系のスイッチ設定



1 METERスイッチの設定

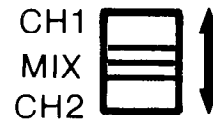
レベルメータに表示される音声と、前面のヘッドホン端子や後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声を選択します。
 Hi-Fi：Hi-Fi音声を選択されます。
 NORM：ノーマル音声を選択されます。



2 AUDIO MONITORスイッチの設定

前面のヘッドホン端子と後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声チャンネルを選択します。

CH1：CH1の音声が出力されます。
 MIX：AUDIO MONITOR端子からは、CH1とCH2の混合音声が出力され、ヘッドホン端子からは、左側はCH1、右側はCH2の音声が出力されます。
 CH2：CH2の音声が出力されます。



■ポケット部のAUDIO CH2/LTCスイッチがLTC側にあるときは、ノーマル音声CH2から音声は聞こえません。

3 AUDIO OUT SELECTスイッチの設定

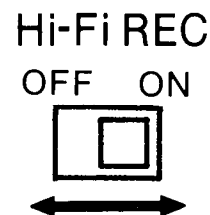
後面のAUDIO OUT (NORM/Hi-Fi) 端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi：Hi-Fi音声が出力されます。
 NORM：ノーマル音声が出力されます。

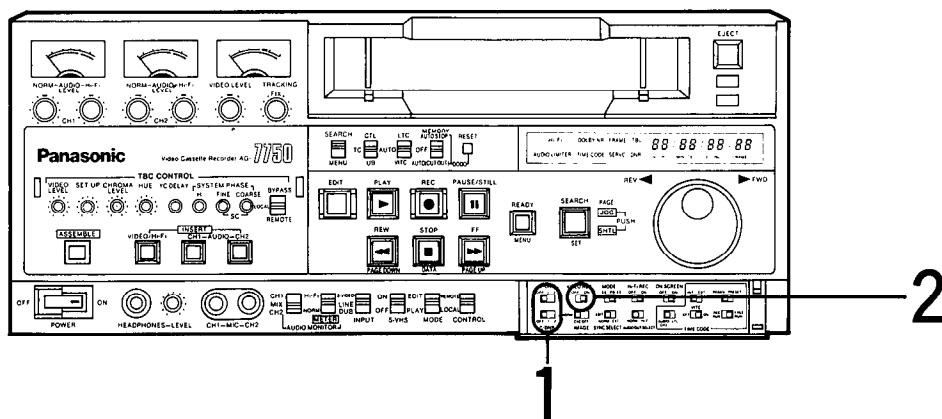


4 Hi-Fi RECスイッチの設定

Hi-Fi音声を記録する場合、「ON」にします。
 ON：Hi-Fi音声とノーマル音声を記録します。
 OFF：ノーマル音声を記録します。



映像系のスイッチ設定



1 DNR(デジタルノイズレデューサ)スイッチの設定

S/N比の劣化したテープを再生する場合、画質に応じたノイズ除去を行うことができます。(ただし、若干の解像度の劣化が発生します。)

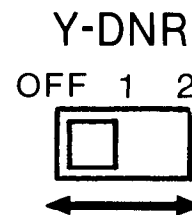
- 編集時は「OFF」にしてください。編集を重ねると画面が乱れる場合があります。
- DNR ONでダビングを重ねると残像がめだちます。

[1] Y信号のノイズ除去

Y-DNRスイッチを設定します。

OFF：輝度信号にDNR処理を行いません。

- 1：輝度信号にDNR処理(レベル1)を行います。低S/N信号に対し2～3dBの改善ができます。
- 2：輝度信号にDNR処理(レベル2)を行います。低S/N信号に対し5～6dBの改善ができます。

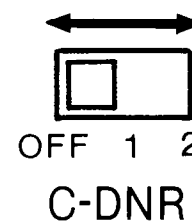


[2] C信号のノイズ除去

C-DNRスイッチを設定します。

OFF：色信号にDNR処理を行いません。

- 1：色信号にDNR処理(レベル1)を行います。低S/N信号に対し2～3dBの改善ができます。
- 2：色信号にDNR処理(レベル2)を行います。低S/N信号に対し5～6dBの改善ができます。



■DNRスイッチは、TBCモードスイッチが「BYPASS」時には動作しません。

2 VIDEO AGCスイッチの設定

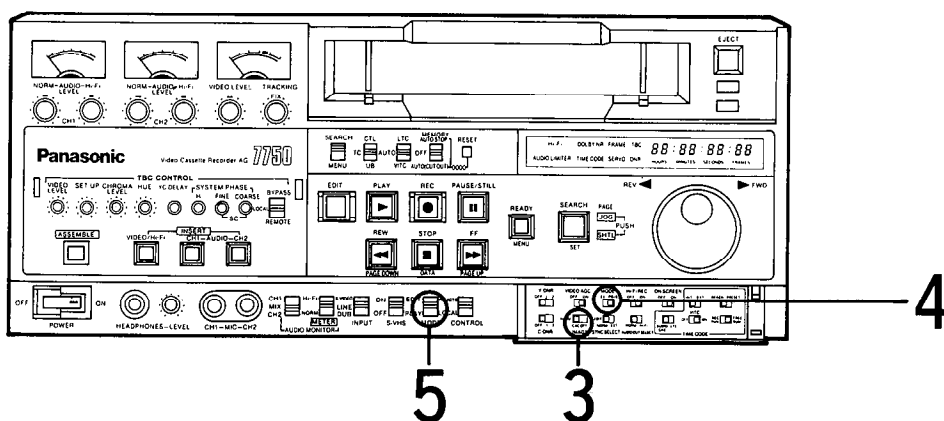
記録時のビデオレベルを自動調整します。

ON：自動調整します。

OFF：自動調整しません。

VIDEO LEVEL調整つまみで、手動調整します。





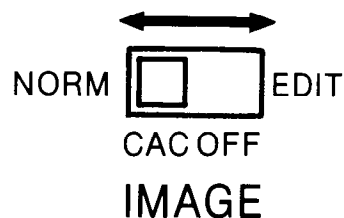
3 IMAGEスイッチの設定

VTR2台で、S-VIDEO/LINE信号を編集する場合に「EDIT」にします。

NORM : 通常使用時はこの位置にします。
輝度信号と色信号のノイズキャンセラーとCAC機能(色信号の色にじみを大幅に改善し、色信号のエッジを強調する機能)が動作します。

CAC OFF : NORMモードからCAC機能が解除されます。
(色信号が強調され過ぎる場合は、この位置にしてください。)

EDIT : 編集時はこの位置にします。



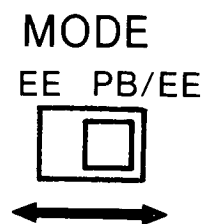
4 MODEスイッチ(ポケット側)の設定

STOPモード時、モニタに映し出される画像の設定を行います。

PB/EE : 静止画が映し出されます。

EE : EE画が映し出されます。

■音声も同時に切り替わります。



5 MODEスイッチ(フロント側)の設定

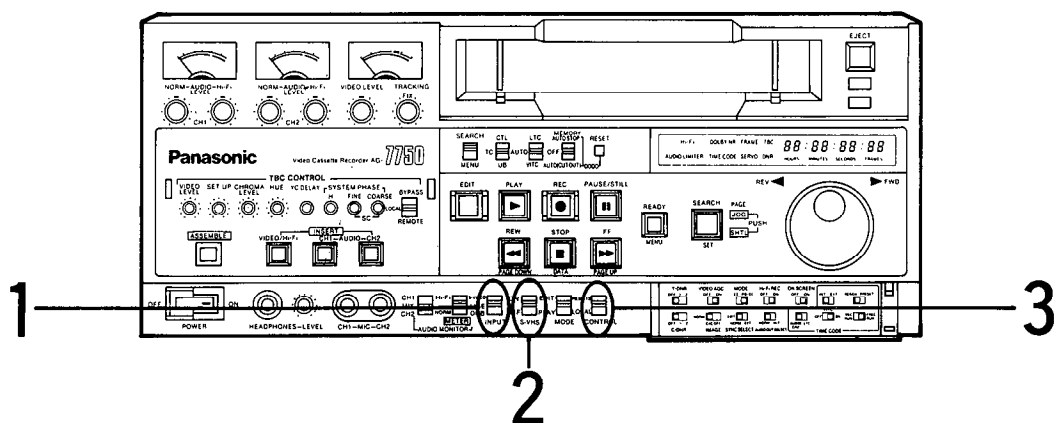
編集時に、本機をソース機として使用するのか、エディタ機として使用するのかを選択します。

PLAY : 本機をソース機とします。

EDIT : 本機をエディタ機とします。



その他のスイッチ設定



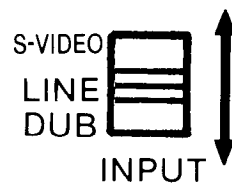
1 INPUTスイッチの設定

編集時は、入力信号によってスイッチを切り替えます。

S-VIDEO : S-VIDEO IN端子に、入力された映像信号を記録する場合

LINE : VIDEO IN端子に、入力された映像信号を記録する場合

DUB : DUB IN端子に、入力された信号をダビング編集する場合



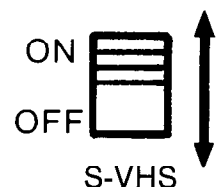
2 S-VHSスイッチの設定

S-VHS方式で記録する場合に「ON」にします。

ON : S-VHS方式で記録されます。

OFF : VHS方式で記録されます。

■S-VHS方式で記録する場合は、S-VHS用カセットテープをご使用ください。(63ページ参照)



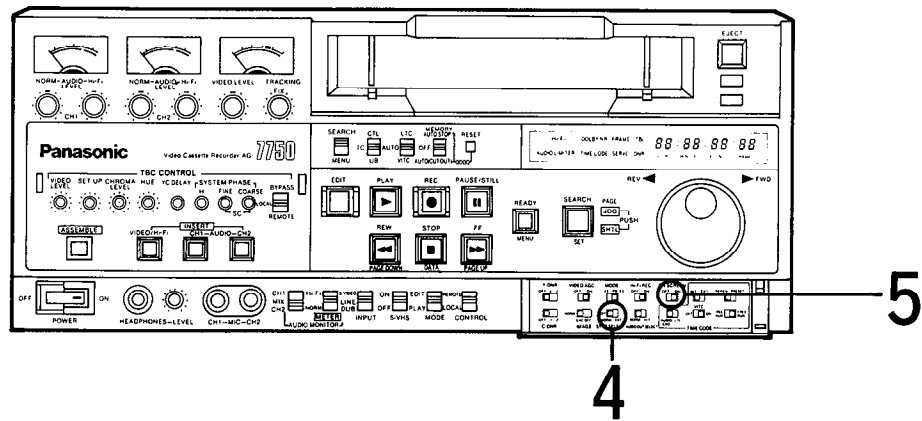
3 CONTROLスイッチの設定

REMOTE : コントローラなどで本機をリモートコントロールする場合、この位置にします。

LOCAL : 本機の前面パネルで操作する場合、この位置にします。

■REMOTE時の本機の動作モードは、ダイヤルメニュー項目NO.3001で設定できます。





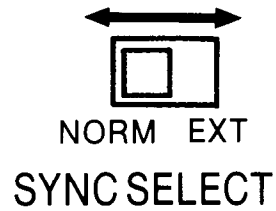
4 SYNC SELECTスイッチの設定

同期信号を選択します。

NORM：内部同期信号または入力映像信号に同期します。

EXT：外部同期信号に同期します。

■詳しくは機能解説を参照ください。(70ページ)

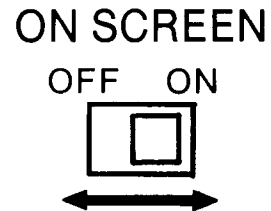


5 ON SCREENスイッチの設定

VIDEO MONITOR端子から出力されるビデオ信号に、タイムコードなどのスーパーインポーズ信号を付加する時に使用します。

ON：スーパーインポーズします。

OFF：スーパーインポーズしません。



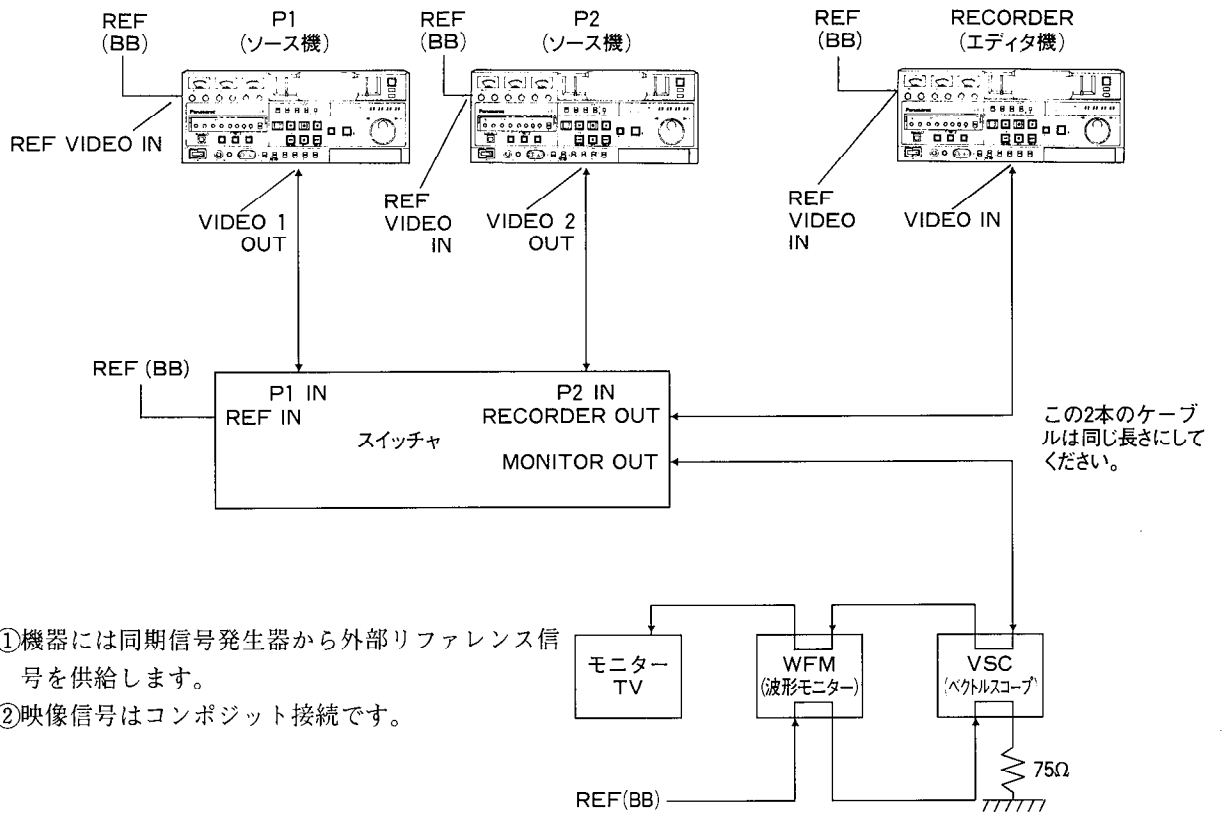
TBC(タイムベースコレクタ)部の調整

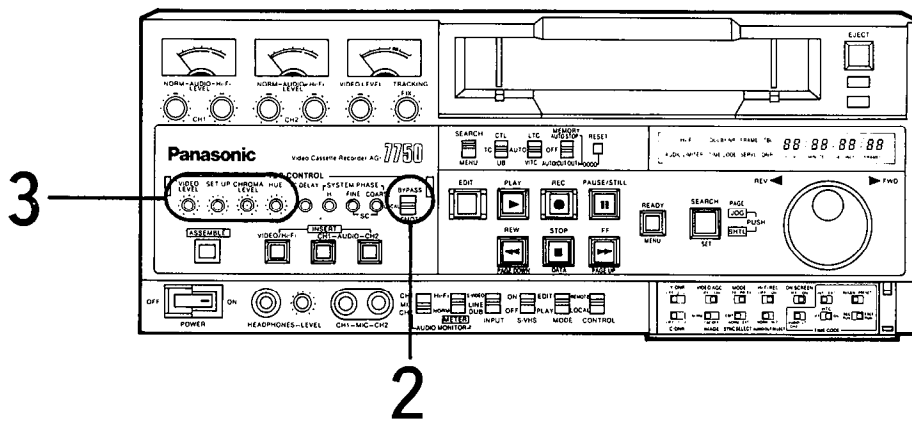
TBCを使用すると、ジッター(画面のゆれ)やスキュー歪み(画面の上部が水平方向に曲がる現象)を低減することができます。

また、編集コントローラを使用してABロール編集(2台のソース機を使った編集方法)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にTBCを調整する必要があります。

(TBCの調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えた場合などごとに調整しなおす必要があります。)

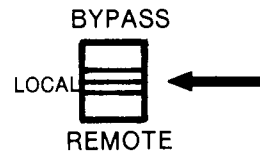
1 以下のように接続します。





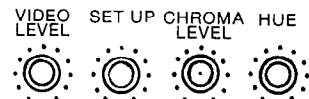
2 TBCモードスイッチを「LOCAL」にします。

- 「BYPASS」になっていると、TBCはOFF状態です。
- 「REMOTE」になっていると、本機のTBCは、外部からのリモートコントロールモードになります。
(後面のTBC REMOTE端子に、TBCリモートコントローラなどを接続します。)



3 単体での調整を行います。

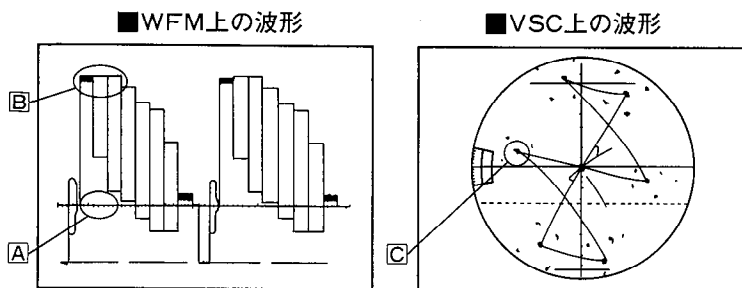
本機のTBCは、標準カラーバーで既に調整されています。通常は、クリック点でご使用ください。ご使用になるテープにおいて、再調整される場合は以下のように行ってください。



[1] ご使用になるテープのカラーバーを再生します。

[2] 各ボリュームを調整します。

ウェーブフォームモニター(WFM)、ベクトルスコープ(VSC)が以下のようになるように、A、B、Cの順番で各ボリュームを調整します。



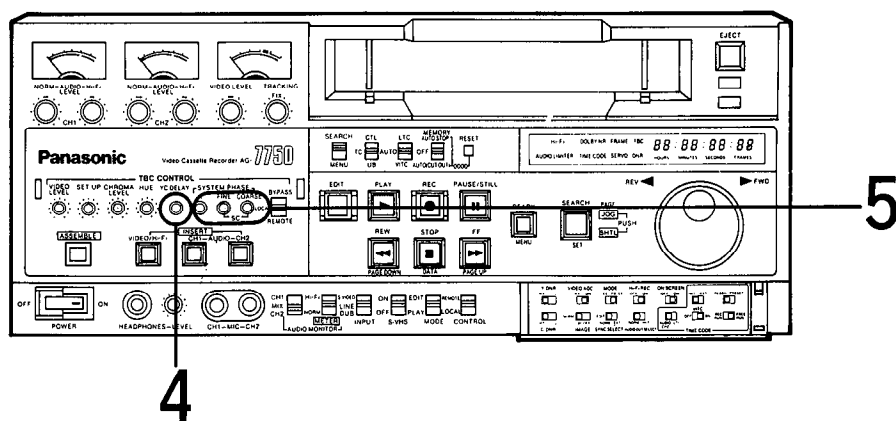
A: セットアップレベル
ズレをなくすように調整します。

B: ビデオレベル
100IREに調整します。

C: クロマレベル・ヒュー
二つのボリュームを調整して田マークに各ベクトル波形の光点を入れます。
もしくは、BYPASSモードのVSC上の波形と同じクロマレベル、ヒューに合わせます。

ご注意 ■WFMやVSCが無く、特に上記レベルがずれている場合は、実際にモニターを目で確認しながら調整を行ってください。通常はクリック点でご使用ください。

TBC(タイムベースコレクタ)部の調整(つづき)



4 YC DELAYを調整します。(通常は調整不要です)

再生されるテープのYC DELAYのズレ(色ズレ)に対して調整します。

1ステップで約70nsecの調整ができます。

YC DELAY

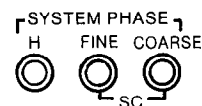


5 SYSTEM PHASEを調整します。

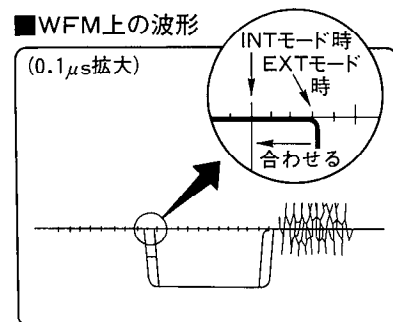
[1] P1 VTRで標準カラーバーを再生します。
(標準カラーバーについては、販売店にご相談ください。)

[2] P1 VTRのSYS PHASEを調整します。

ウェーブフォームモニタ(WFM)が以下のようにになるように調整します。



- 1) WFMはINTモード。0.1 μ sに拡大します。
- 2) H SYNCの位置を確認します。
- 3) そのままWFMをEXTモードにします。
- 4) EXTモードにすると、先程のH SYNCの位置がずれる為、SYS PHASEつまみで先程の位置まで調整します。
(最初にHを調整します。次にSC COARSEで粗調整し、SC FINEで微調整をします。)
- 5) P2 VTRのSYS PHASEも同様に調整します。



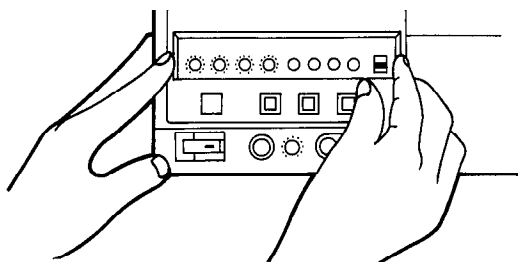
(SYNCの立ち下がりに着目)

メモ 各ボリュームの調整の内容

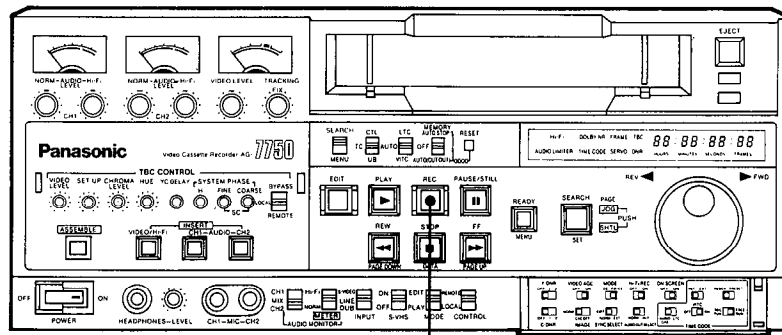
- VIDEO LEVEL : ビデオレベルを調整します。
- SET UP LEVEL : セットアップレベルを調整します。
- CHROMA LEVEL : クロマレベルを調整します。
- HUE LEVEL : ヒューレベルを調整します。
- YC DELAY : YCタイミングのずれを調整します。
- SYSTEM H PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSYNC GENのH位相を調整します。
- SYSTEM SC PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSC位相を調整します。
COARSE ; 90°毎に4ステップ
FINE ; 連続90°強の範囲
トータルで360°をカバーします。

TBC部保護カバー(付属品)について

TBC部の各ボリュームの調整がズレないようにするため、付属品のTBC部保護カバーを取り付けます。



編集操作を行う前に



3

編集とは、既に記録済のテープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集モードには、アSEMBル編集とインサート編集の二つがありますが、実際に編集操作を行う前に、以下の操作を行ってください。

(本機単体での編集時は、CTL編集となりタイムコード編集は行えません。)

1 各種調整・設定を済ませます。(21～29ページ参照)

2 FRAME LOCKランプが次の状態で点灯するか確認してください。

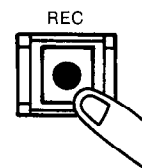
- [1] 編集したいテープを再生します。
- [2] ソース機側のTRACKING調整つまみで、TRACKINGメータが最大に振れるように調整します。
- [3] エディタ機側のTRACKING調整つまみを、中央のクリック点に合わせます。
- [4] エディタ機側とソース機側のFRAME SERVOスイッチを「ON」側にします。
- [5] TBC ON状態でソース機側のFRAME LOCKランプが点灯していることを確認してください。
 - ランプが消灯している場合は、エディタ機側のSYNC SELECTスイッチを「NORM」側にしてください。
- [6] エディタ機側のFRAME LOCKランプが点灯していることを確認してください。
 - FRAME LOCKランプが消灯していると、編集画像が乱れる場合があります。

3 編集したい内容をモニターテレビで確認します。

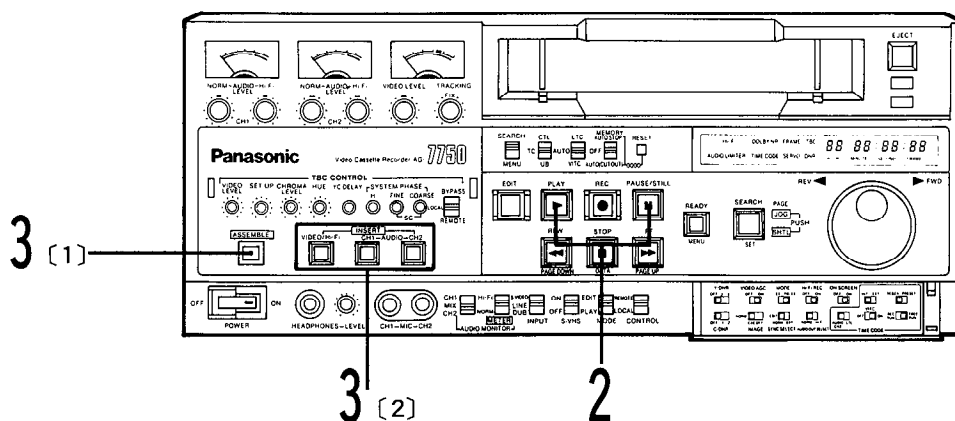
再生実行中にRECボタンを押します。

RECボタンを押している間、E-E系画像を見ることができます。
テープには記録されません。

■誤消去防止用つめの折れたカセットが挿入されている場合は、
E-E系画像を見ることはできません。



編集モードの選択

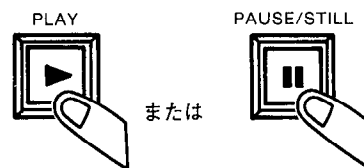


1 編集の準備をしてください。

詳しくは前ページの「編集を行う前に」を参照ください。

2 PLAY状態またはPLAY/STILL状態にしてください。

PLAYボタンまたはPAUSE/STILLボタンを押してください。



3 編集モードを選択します。

[1] アセンブル編集の場合

ASSEMBLEボタンを押します。

ボタンは一度押すと点灯し、再度押すと消灯します。



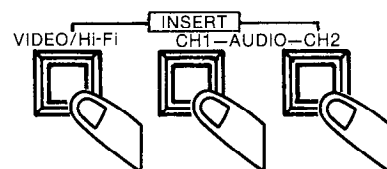
[2] インサート編集の場合

編集を希望するINSERTボタンを選択します。

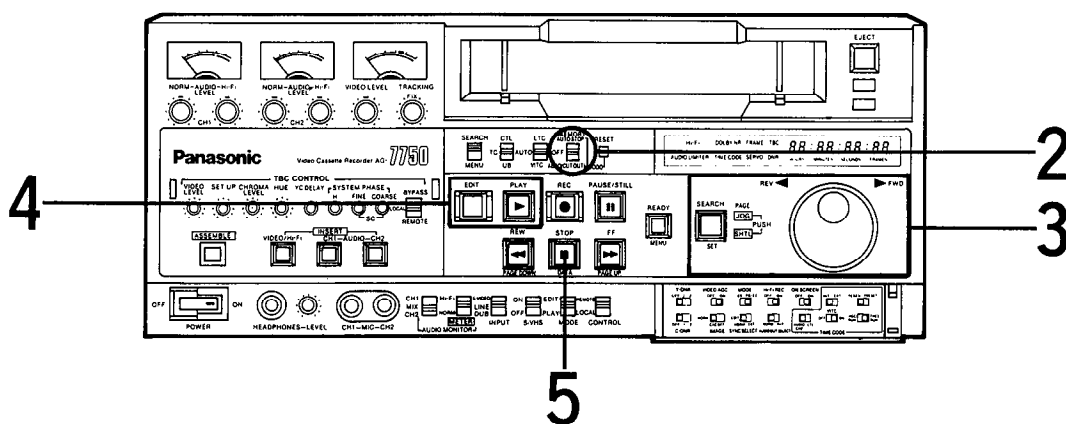
ボタンは一度押すと点灯し、再度押すと消灯します。

点灯しているボタンの信号のみインサート編集されます。

■アセンブル・インサート編集については、機能解説の69ページを参照ください。

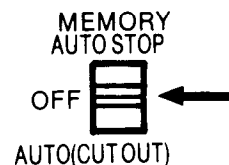


手動編集の実行

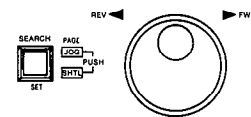


1 編集モードを選択してください。
 詳しくは前ページの「編集モードの選択」を参照ください。

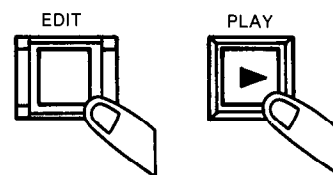
2 MEMORYスイッチを「OFF」にします。
 「AUTO CUT OUT」側になっていると、カウンタディスプレイが「0:00:00:00」で編集はカットアウトされて停止してしまいます。



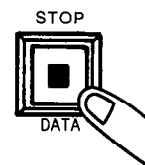
3 サーチ操作で編集開始点を探し、静止画にします。
 サーチ操作の詳しい説明は19ページを参照ください。



4 EDITボタンを押しながらPLAYボタンを押します。
 約3秒間AUTO BACKし助走後、編集が開始されます。

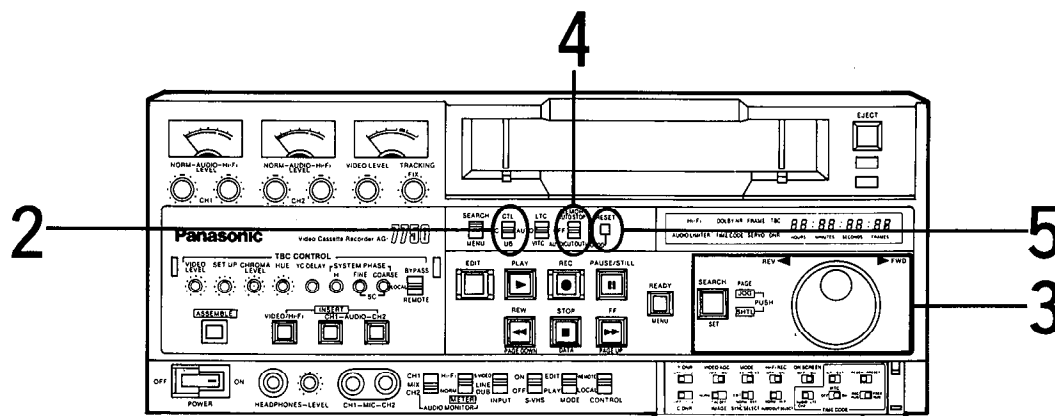


5 STOPボタンを押すと編集が停止します。



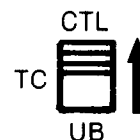
ご注意 ■編集中は、TBCをON/OFFしないでください。

AUTO CUT OUT 編集(簡易自動編集)

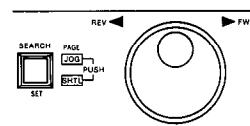


1 編集モードを選択してください。
詳しくは31ページの「編集モードの選択」を参照ください。

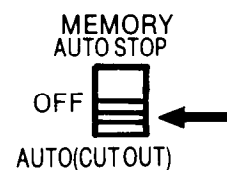
2 DISPLAYスイッチを「CTL」にします。



3 サーチ操作で編集終了点を探し、静止画にします。
サーチ操作の詳細な説明は19ページを参照ください。



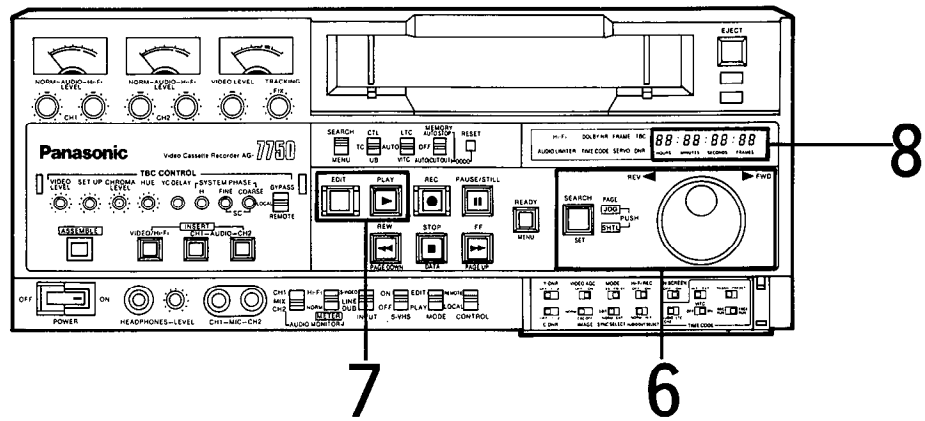
4 MEMORYスイッチを「AUTO (CUT OUT)」にします。



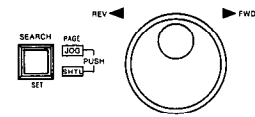
5 RESETボタンを押します。
テープカウンタが「0:00:00:00」にリセットされます。この点が編集終了点になります。



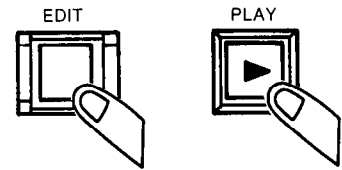
AUTO CUT OUT 編集(簡易自動編集) (つづき)



6 サーチ操作で編集開始点を探し、静止画にします。
 サーチ操作の詳細な説明は19ページを参照ください。

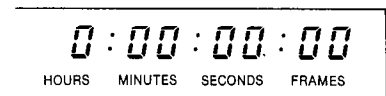


7 EDITボタンを押しながらPLAYボタンを押します。
 約3秒間AUTO BACKし助走後、編集が開始されます。



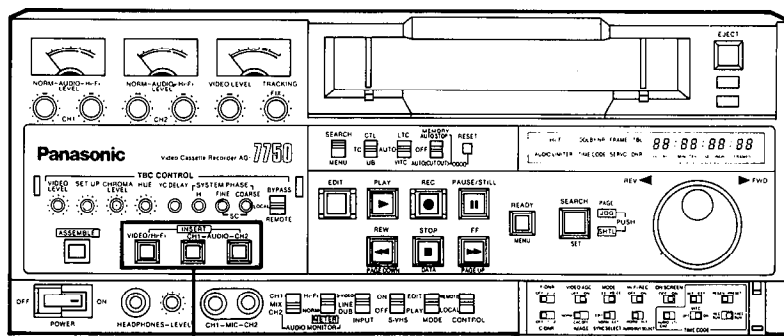
8 編集の終了
 テープカウンタが「0:00:00:00」になると、自動的に、編集がカットアウトされます。

■インサート編集の場合、自動的にカットアウト点付近に戻ります。



スプリット編集のしかた

スプリット編集とは、インサート編集中に編集信号をかえることです。



1 インサート編集を実行します。

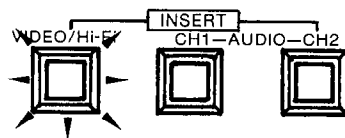
詳しくは31ページを参照ください。

2 編集信号を切り替えます。

操作例

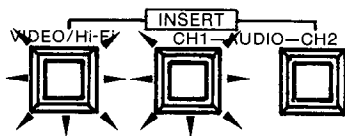
VIDEO/Hi-Fi信号をインサート編集中に、AUDIO CH1音声を追加挿入する。

[1] VIDEO/Hi-Fi信号をインサート編集集中



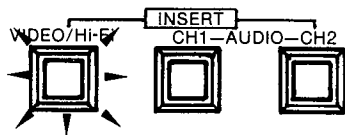
[2] AUDIO CH1ボタンを押します。

AUDIO CH1音声がインサート編集されます。



[3] 再度AUDIO CH1ボタンを押します。

AUDIO CH1音声のインサート編集が終了します。



ご注意

- インサート編集集中に、アセンブル編集に切り替えることもできます。
- アセンブル編集集中に、インサート編集に切り替えることはできません。

編集時のご注意

- 編集モードを設定しないでEDIT STARTボタンを押すと、編集モードボタン(ASSEMBLE、VIDEO Hi-Fi、AUDIO CH1、AUDIO CH2)が6回点滅し、編集モードの選択を案内します。
- プリロールのため編集開始点前には、最低3秒間は記録済部分が必要です。
テープ始端からの編集はできません。

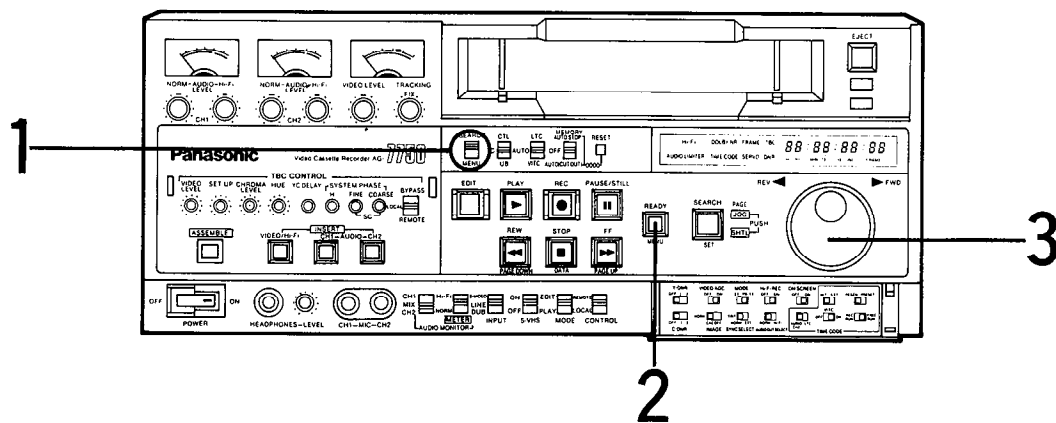
アSEMBル編集時のご注意

- 編集終了点のあと、約2秒間は元の内容が消されてしまいますので、ご注意ください。

インサート編集時のご注意

- S-VHS方式で記録されているテープに、VHS方式でインサート編集すると、編集開始・終了点で画像が乱れます。
- コントロール信号を用いて、編集を行いますので、編集区間はテープの記録済部分内で設定してください。

ダイヤルメニュー機能の操作



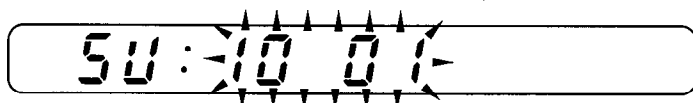
1 サーチダイヤルモードスイッチを「MENU」にします。

■ダイヤルメニュー機能以外の操作はできなくなります。



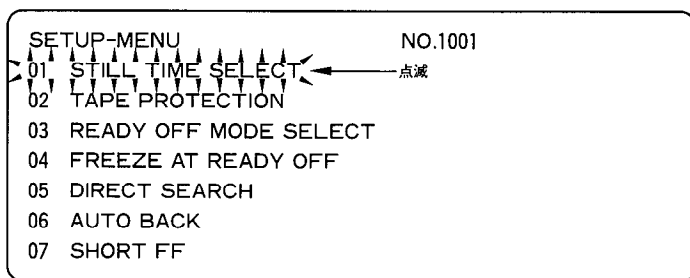
2 READY(MENU)ボタンを押します。

ディスプレイの表示は以下ようになります。



MONITOR VIDEO端子に接続されているモニタにSETUP-MENU画面が表示されます。

モニタの表示は以下ようになります。

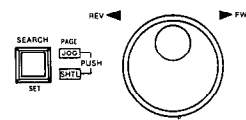


3 サーチダイヤルを回して、設定項目を探します。(ダイヤルはJOGモード状態)

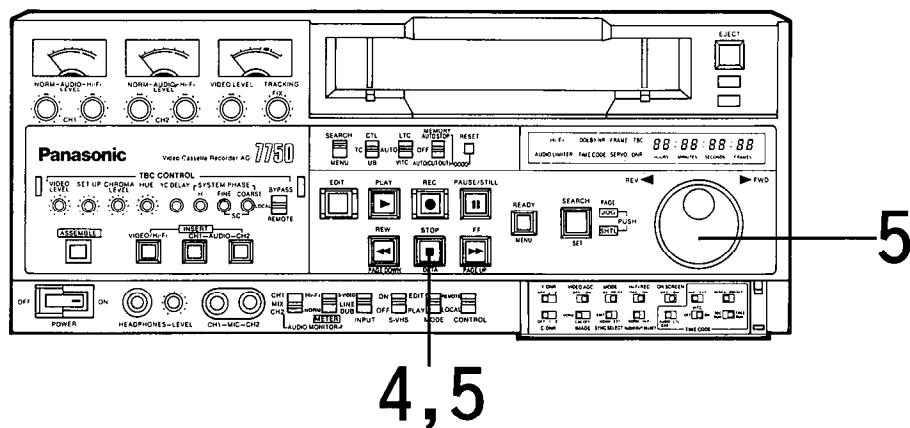
サーチダイヤルの操作は、JOGモード状態で行います。(SHTLモードだと、SHTLランプが点滅し、操作はできません)

右に回すとNO.が1001→1002→1003→・・・のように増加し、左に回すと減少します。(選択されている項目が点滅表示されます。)

■ページ単位でメニューを切り替える場合は、FF (Page Up)、REW (Page Down) ボタンを押します。



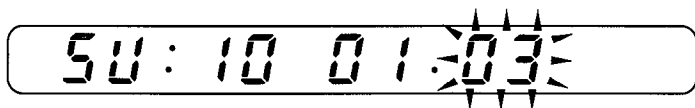
ダイヤルメニュー機能の操作 (つづき)



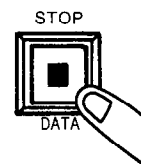
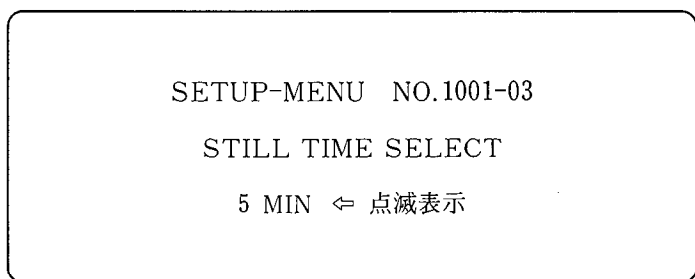
4 希望の項目でSTOP (DATA) ボタンを押します。

STOPボタンを押している間、セットアップ変更画面が表示されます。

ディスプレイの表示は以下のようになります。



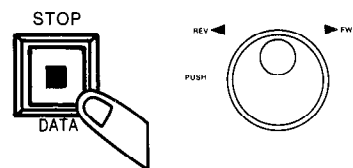
モニタの表示は以下のようになります。



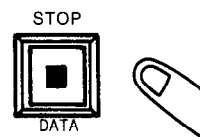
5 STOP (DATA) ボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。

点滅表示が変わりますので、希望の値に設定してください。

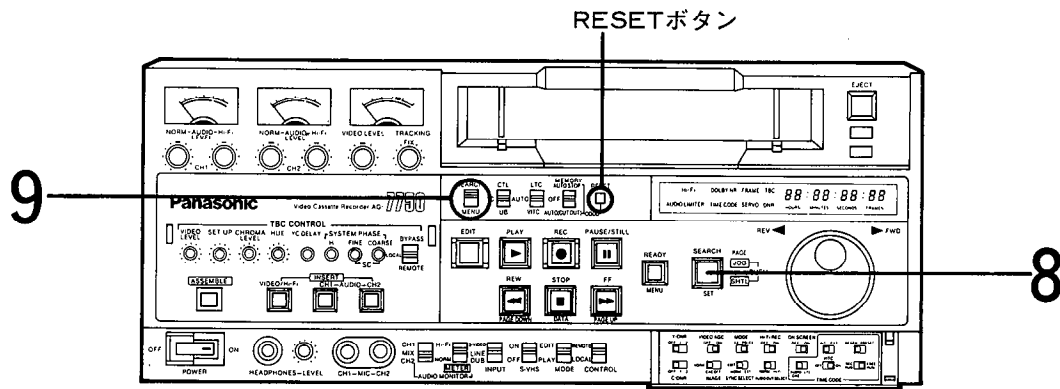
■サーチダイヤルの操作は、JOGモード状態で行います。



6 STOP (DATA) ボタンから指を離します。



ご注意 ■項目NO.5008と5009は設定方法が異なります。(46ページを参照ください。)

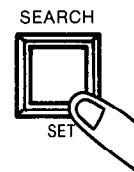


7 3~6の操作を繰り返します。

セットアップ変更を行いたい項目は、すべて希望の値に設定します。

8 設定終了後、SEARCH(SET)ボタンを押します。

セットアップ変更が確定されます。



9 サーチダイヤルモードスイッチを「SEARCH」に戻します。

通常の画面に戻ります。

■8の項でSETボタンを押さないと、スイッチを「SEARCH」に戻すと、設定は無効になります。



ご注意 ■セットアップを初期設定(工場出荷時)に戻すにはSETUP-MENUが表示されているときに、RESETボタンを押します。以下のメッセージが表示されます。

SETUP-MENU INIT. SET
OK? (PUSH PLAY KEY)

PLAYボタンを押すと、初期設定に戻ります。

SETUP-MENU 画面について

操作・機能関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
1001	STILL TIME SELECT	00 01 02 03	10 SEC 30 SEC 1 MIN 5 MIN	STOP, STILLの状態では放置された場合、テープ保護のため自動的に、TAPE PROTECTION MODEになるまでの時間を選択します。
1002	TAPE PROTECTION	00 01	READY OFF AUTO ADVANCE	上記のSTILL TIMEが経過後のモードを選択します。 00: READY OFFモードになります。 01: テープを保護するため、テープがコマ送りされます。
1003	READY OFF MODE SELECT	00 01 02	DRUM ROTATE DRUM STOP UNLOADING	READY OFF状態の動作を選択します。 00: テープルーリングでドラム回転 01: テープルーリングでドラム停止 02: アンローディング
1004	FREEZE AT READY OFF	00 01	OFF ON	READY OFF直前の映像をTBCがメモリするかどうかを選択します。(TBC ON時のみ動作可能)
1005	DIRECT SEARCH	00 01	OFF ON	ダイレクトサーチモードを設定します。 00: 通常のサーチ操作 01: サーチボタンを押さなくても、サーチダイヤルを操作すると、自動的にサーチモードになります。
1006	AUTO BACK	00 01	OFF ON	オートバックスペース録画機能の設定をします。 00: 通常のREC/PAUSE操作 01: PLAY/STILLモード中にRECボタンを押すか記録中にPAUSE/STILLボタンを押すと、テープが約3秒間巻戻されて待機します。 その後、PAUSE/STILLボタンを押すと3秒間再生動作を行ってから記録が開始されます。
1007	SHORT FF	00 01	OFF ON	ショートFF機能を設定します。 00: ショートFF動作を行いません。 01: テープ始端でショートFF動作を行います。
1008	AUTO REW	00 01	OFF ON	オートリワインド機能を設定します。 00: テープ終端になると、停止します。 01: テープ終端になると、自動的にテープ始端まで巻戻して停止します。
1009	VIDEO MODE	00 01 02	COLOR AUTO B/W	入力ビデオ信号のカラーモードを選択します。 00: 強制的にカラーモードになります。 01: 入力信号により自動的にカラーモードを検出します。 02: 強制的に白黒モードになります。

00は初期設定(工場出荷時)を示します。

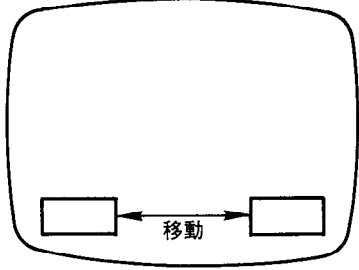
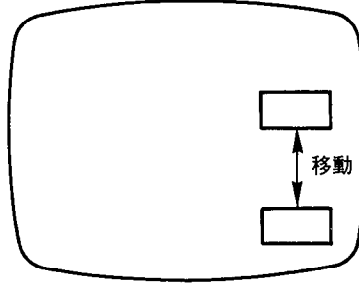
操作・機能関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明									
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示										
1010	Y/C FILLTER	00 01	OFF ON	Y/Cフィルタを設定します。 00：YクシフィルターがOFFになります。 01：YクシフィルターがONになります。 (記録時およびDUB OUT端子は、このスイッチとは関係ありません。)									
1011	AUDIO LIMITER	00 01	OFF ON	AUDIO LIMITER機能を設定します。 00：ダイナミックな音量がそのまま録音されます。 01：記録時に瞬時的に過大入力があっても、自動音声制限回路が働き歪みのない録音が行えます。 (この機能はノーマル音声のみ有効です。)									
1012	DOLBY NR	00 01	OFF ON	DOLBY NRシステムを設定します。 00：DOLBY NRシステムOFF 01：DOLBY NRシステムON ■DOLBY NRシステムについて <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">PLAY REC</td> <td style="text-align: center;">ON</td> <td style="text-align: center;">OFF</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ON</td> <td>雑音の少ない正常な音声聞けます。</td> <td>高音が強調されます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OFF</td> <td>高音が低下します。</td> <td>正常に聞こえます。</td> </tr> </table> <p>* DOLBY NRシステムはノーマル音声のみに有効です。</p>	PLAY REC	ON	OFF	ON	雑音の少ない正常な音声聞けます。	高音が強調されます。	OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。
PLAY REC	ON	OFF											
ON	雑音の少ない正常な音声聞けます。	高音が強調されます。											
OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。											
1013	HI-FI REC SELECT	00 01	HI-FI INPUT NORMAL INPUT	Hi-Fi音声記録時の入力の選択を行います。 00：Hi-Fi音声入力端子 01：NORM/Hi-Fi音声入力端子									
1014	CH1 REC	00 01	CH1 MIX	ノーマル音声CH1記録時の入力切り替えを行います。 00：CH1音声を記録します。 01：CH1, CH2をMIXした音声を記録します。									

は初期設定(工場出荷時)を示します。

SETUP-MENU 画面について (つづき)

スーパーインポーズ関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
2001	CHARACTER BACKGROUND	00 01	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示のバックグラウンド状態を選択します。 00：ブラック表示=LTGR 00：00：00：00 01：ふちどり表示=LTGR 00：00：00：00
2002	CHARACTER H-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示の水平方向位置を選択します。NO.を大きくするに従って右方向へ移動します。 
2003	CHARACTER V-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示の垂直方向位置を選択します。NO.を大きくするに従って下方向へ移動します。 
2004	STATUS SUPER	00 01	OFF ON	スーパー表示にVTRの動作モードを表示するか選択します。 00：表示しません。 01：表示します。

は初期設定(工場出荷時)を示します。

リモート関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
3001	EJECT/STOP FNCTN REM.	00 01	POSSIBLE NOT POSSIBLE	REMOTEモード時、パネル部のEJECT/STOPボタンの動作を設定します。 00：動作可能 01：動作不能
3002	9P DEVICE TYPE SELECT	00 01	OTHER TYPES S-VHS ID	9PのDEVICE TYPE REQUEST COMMANDに対して返信するID CODEを選択します。 00：松下製以外のコントローラを接続する場合 01：松下製のコントローラを接続する場合
3003	REMOTE OPERATION	00 01	9P 34P	リモート制御時のコントローラタイプを選択します。 00：9P RS-422Aシリアルコントロール 01：34Pコントロール
3004	34P SHTL MAX SPEED	00 01	*10 *20	34Pコントローラで制御時のシャトルの最高スピードを選択します。 00：10倍速 01：20倍速
3005	34P CONTROLLER TYPE	00 01	TYPE-1 A750 A800 TYPE-2 A650 A500 A505	接続する34Pコントローラの機種を選択します。 00：AG-A750, AG-A800 01：AG-A650, NV-A500, NV-A505

※初期設定(工場出荷時)を示します。

SETUP-MENU 画面について (つづき)

編集関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
4001	AUTO PREROLL ENTRY	00	NOT ENTERED	IN点の登録されていないとき、プリロールコマンドによりIN点を登録するか選択します。 00：登録しません。 01：登録します。
		01	ENTERED	
4002	PREROLL TIME	00	0 SEC	9P制御のプリロールタイムを0秒から15秒まで選択します。
		01	1 SEC	
		02	2 SEC	
		03	3 SEC	
		04	4 SEC	
		05	5 SEC	
		06	6 SEC	
		07	7 SEC	
		08	8 SEC	
		09	9 SEC	
		10	10 SEC	
		11	11 SEC	
		12	12 SEC	
		13	13 SEC	
		14	14 SEC	
		15	15 SEC	
4003	PLAY DELAY	00	0 FRAME	PLAY動作開始時のPLAY DELAY時間を0フレームから15フレームまで選択します。
		01	1 FRAME	
		02	2 FRAME	
		03	3 FRAME	
		04	4 FRAME	
		05	5 FRAME	
		06	6 FRAME	
		07	7 FRAME	
		08	8 FRAME	
		09	9 FRAME	
		10	10 FRAME	
		11	11 FRAME	
		12	12 FRAME	
		13	13 FRAME	
		14	14 FRAME	
		15	15 FRAME	
4004	FRAME SEARVO	00	OFF	フレーミングモードを設定します。 00：EIAスタンダード信号(RS-170)に適合しない信号が入力される場合は、この位置にします。フレーミングは行われません。 01：EIAスタンダード信号(RS-170)に適合する信号を入力する場合はこの位置にすると、フレーミングが行われます。
		01	ON	

は初期設定(工場出荷時)を示します。

タイムコード関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
5001	DROP/NON-DROP FRAME	00	NON-DROP FRAME	タイムコードまたはコントロール信号に対しての時間ずれ補正を設定します。 00：ノンドロップフレーム処理で、時間ずれ補正を行わず、30フレームで1秒として演算します。 01：ドロップフレーム処理で、カラー同期と実時間のずれを補正します。 0、10、20、30、40、50を除く正分の開始から2フレーム(.00 .01)をスキップします。
		01	DROP FRAME	
5002	TC SOURCE SELECT	00	VITC	タイムコードモードがAUTOのとき、VITC/LTCどちらを優先させるかを選択します。 00：VITCを優先します。 01：LTCを優先します。
		01	LTC	
5003	VITC POSITION SEL-1	00	10 LINE	VITC信号の挿入ラインを選択します。 *NO.5004と同じラインは選択できません。 (隣接したラインを選択することもさけてください。)
		01	11 LINE	
		02	12 LINE	
		03	13 LINE	
		04	14 LINE	
		05	15 LINE	
		06	16 LINE	
		07	17 LINE	
		08	18 LINE	
		09	19 LINE	
5004	VITC POSITION SEL-2	00	10 LINE	VITC信号の挿入ラインを選択します。 *NO.5003と同じラインは選択できません。 (隣接したラインを選択することもさけてください。) ご注意 TBC ONでご使用になるときは、10、11 LINEを選択しないでください。スキューなどでVITCが読めない場合があります。BYPASSモード時には、影響はありません。
		01	11 LINE	
		02	12 LINE	
		03	13 LINE	
		04	14 LINE	
		05	15 LINE	
		06	16 LINE	
		07	17 LINE	
		08	18 LINE	
		09	19 LINE	
5005	TCG REGEN MODE	00	TC&UB	TCGがREGENモード時REGENする信号を選択します。 00：タイムコード、ユーザーズビット共にREGENします。 01：タイムコードのみREGENします。 02：ユーザーズビットのみREGENします。
		01	TC	
		02	UB	

*NO.5002～5009の設定は、別売品のタイムコード基板AG-F700が、本機に装着されている場合のみ表示されず。


は初期設定(工場出荷時)を示します。

SETUP-MENU 画面について (つづき)

タイムコード関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
5006	TC OUT SIGNAL REGEN	00 01	OFF TAPE REGEN	タイムコードがLTCで、ポケット部のREGEN/PRESETスイッチが「REGEN」のとき、TIME CODE OUT端子から出力される波形を設定します。 00：再生信号をそのまま出力します。 01：SERVO LOCK時のみ、再生信号をREGENして出力します。
5007	UB BINARY GROUP FLAG	00 01 02 03	NOT SPECIFIED ISO CHARACTER UNASSIGNED 1 UNASSIGNED 2	TCGで発生するユーザーズビット使用状態を選択します 00：キャラクタセットを指定しません。 01：ISO646, ISO2022に準拠した8-BITキャラクタセットです。 02：未定義 03：未定義
5008	TIME CODE PRESET	00	画面を見ながらTCGのプリセットを設定します。	タイムコードジェネレータのプリセット値を設定します。 00：00：00：00～23：59：59：29
5009	U-BIT PRESET	00	画面を見ながらUBGのプリセットを設定します。	ユーザーズビットのプリセット値を設定します。 00：00：00：00～FF：FF：FF：FF

* NO.5002～5009の設定は、別売品のタイムコード基板AG-F700が、本機に装着されている場合のみ表示されます。

 は初期設定(工場出荷時)を示します。

5008/5009の設定方法

1. 項目NO.5008または5009に合わせて、STOPボタンを押します。
2. サーチダイヤルを回して、変更桁(点滅表示)を移動させます。
3. STOPボタンを押しながら、サーチダイヤルを回すと、値が変わります。
4. 設定終了後は、SEARCH(SET)ボタンを押します。

■初期値は現在のタイムコード値が表示されます。

RESETボタンを押すと、00：00：00：00にリセットされます。

■ポケット部のINT/EXTスイッチを「INT」、REGEN/PRESETスイッチを「PRESET」に設定していないと操作できません。

タイムコード/ユーザズビットについて

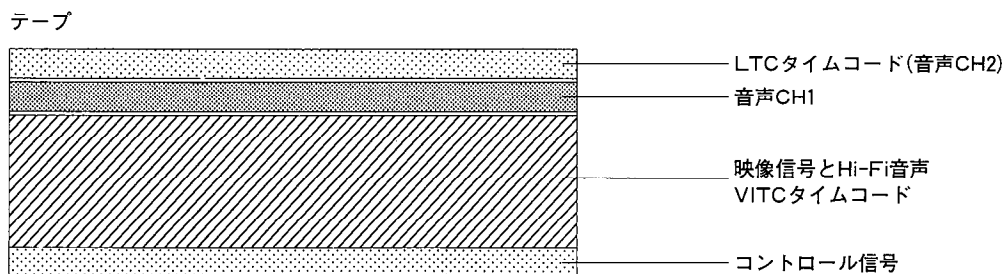
タイムコード

タイムコードとは、タイムコードジェネレータ(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)で、その値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するとき 사용합니다。テープの絶対位置が分かると、正確な編集や素早いサーチ操作を行うことができます。

タイムコードには、LTC(Longitudinal Time Code)とVITC(Vertical Interval Time Code)の二つのタイプがあります。

LTCは、テープ上のノーマル音声CH2用のトラックに記録されます。
テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。

VITCは、映像信号の垂直ブランキング区間に記録されますので、ノーマル音声CH2用のトラックを使用しなくても、テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。



タイムコードの値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

L	T	C	R	0	0	:	0	7	:	0	4	:	2	4
_____				_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
				時			分			秒				フレーム
タイムコードモード														

ユーザズビット

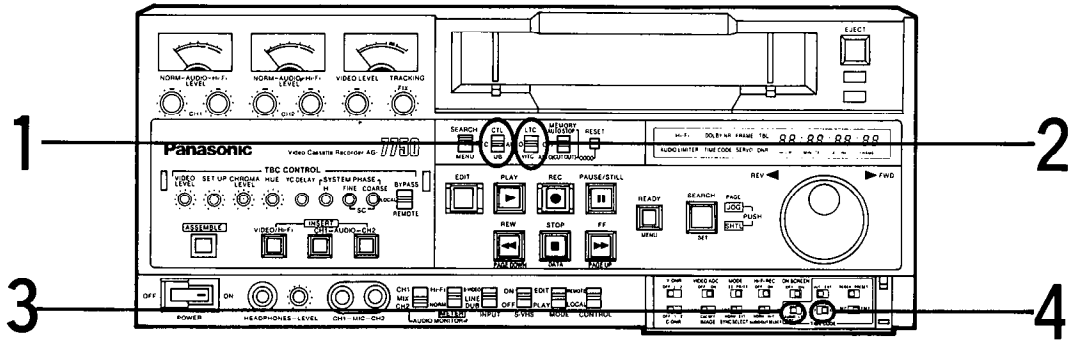
ユーザズビットとは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録させることができます。

LUBR A b C d E F 88

ユーザズビットで使用できる文字は、0~9とA, B, C, D, E, Fの16文字です。
(カウンタディスプレイには、BとDは小文字で表示されます。)

タイムコード関係のスイッチ設定

■タイムコード関係の操作は、別売品AG-F700タイムコードジェネレータ・リーダーを、本機に装着しなければ行うことはできません。



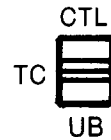
1 DISPLAYスイッチの設定

ディスプレイに表示されるタイムコードモードを切り替えます。

CTL : CTL(コントロール)信号の値が表示されます。

TC : タイムコード値が表示されます。

UB : ユーザービット値が表示されます。



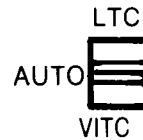
2 TIME CODEモードスイッチの設定

タイムコードの読み取りモードを切り替えます。

LTC : リニアトラックCH2に記録されているLTCのタイムコード信号を読み取ります。

AUTO : ダイアルメニュー項目NO.5002で選択されているタイムコード信号(LTCまたはVITC)を優先的に読み取ります。

VITC : VITCだけ読み取ります。



3 AUDIO CH2/LTCスイッチの設定

リニアトラックCH2にノーマル音声CH2を記録するか、LTCのタイムコード信号を記録するかを選択します。

AUDIO CH2 : ノーマル音声CH2を記録します。

LTC : LTCのタイムコードを記録します。

●TIME CODEランプが点灯します。



4 VITCスイッチの設定

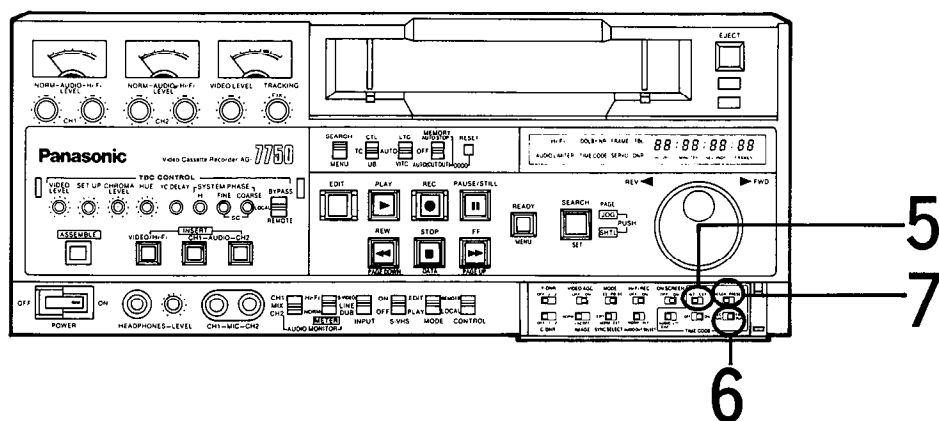
VITCのタイムコードを記録する場合は「ON」にします。

VITCは映像信号の垂直ブランキング区間に記録されますので、CH2トラックがノーマル音声CH2用に設定されていても関係なく、VITCタイムコードの記録が行えます。

ON : VITCの記録が可能になります。

OFF : VITCは記録されません。





5 INT/EXTスイッチの設定

INT : 内部のタイムコード/ユーザーズビットを記録する場合にこの位置にします。

EXT : 外部のタイムコード/ユーザーズビットを記録する場合にこの位置にします。



6 REC RUN/FREE RUNスイッチの設定

タイムコードの歩進モードを選択します。

REC RUN : 記録時のみタイムコードが進みます。

FREE RUN : VTRのモードに関係なく、時刻と同じように、タイムコードが進みます。



7 REGEN/PRESETスイッチの設定

REGEN : 再生タイムコードまたは外部タイムコードに内部タイムコードを同期させます。

PRESET : 内部タイムコードを使用する場合は、この位置にしてください。



8 ダイヤルメニュー機能での設定

ダイヤルメニュー機能項目NO.5001~5007でタイムコード関係のセットアップを行えます。(45、46ページ参照)

ダイヤルメニュー機能項目NO.5008, 5009でタイムコード/ユーザーズビットのプリセット値を設定できます。

タイムコード/ユーザズビットの記録

■タイムコード関係の操作は別売品のAG-F700を本機に装着しないと行うことができません。

1 任意(プリセット)のタイムコード/ユーザズビットを記録する場合

- [1] INT/EXTスイッチの設定 ⇒ 「INT」(49ページ参照)
- [2] REC RUN/FREE RUNスイッチの設定 ⇒ 「REC RUN」(49ページ参照)
- [3] REGEN/PRESETスイッチの設定 ⇒ 「PRESET」(49ページ参照)
- [4] ダイヤルメニュー機能項目NO.5008または5009でプリセット値を設定します。(46ページ参照)

■LTCタイムコードを記録しない場合は、AUDIO CH2/LTCスイッチを「AUDIO CH2」にします。(48ページ参照)

■VITCタイムコードを記録しない場合は、VITCスイッチを「OFF」にしてください。(48ページ参照)

2 編集テープ上に連続したタイムコードを記録する場合

- [1] INT/EXTスイッチの設定 ⇒ 「INT」(49ページ参照)
- [2] REC RUN/FREE RUNスイッチの設定 ⇒ 「FREE RUN」(49ページ参照)
- [3] REGEN/PRESETスイッチの設定 ⇒ 「REGEN」(49ページ参照)

■LTCタイムコードを記録しない場合は、AUDIO CH2/LTCスイッチを「AUDIO CH2」にします。(48ページ参照)

■VITCタイムコードを記録しない場合は、VITCスイッチを「OFF」にしてください。(48ページ参照)

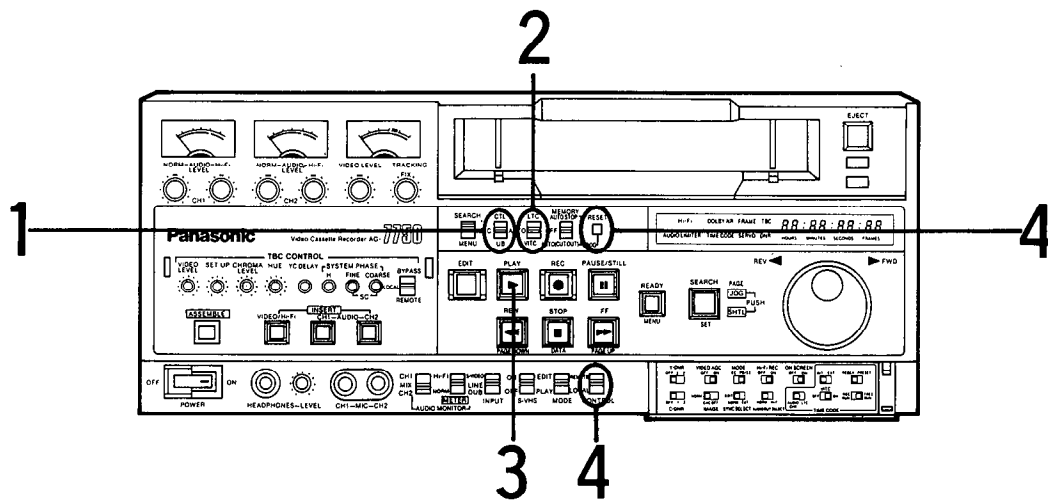
3 テープ上に記録されているLTCをダビングする場合

(以下の設定でダビングすると、LTCのタイムコード信号の劣化を防ぐことができます。)

- [1] TIME CODEモードスイッチの設定 ⇒ 「LTC」(48ページ参照)
- [2] AUDIO CH2/LTCスイッチの設定 ⇒ 「TC」(48ページ参照)
- [3] REGEN/PRESETスイッチの設定 ⇒ 「REGEN」(49ページ参照)
- [4] ダイヤルメニュー機能項目NO.5006 ⇒ 「REGEN」(46ページ参照)

■この設定は、ダビング時のみの設定ですので、編集時には設定しないでください。

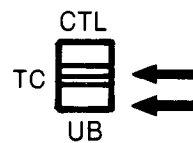
タイムコード/ユーザーズビットの再生



1 DISPLAYスイッチを「TC」または「UB」側にします。

TC：タイムコードを再生します。
 UB：ユーザーズビットを再生します。

■AG-F700が装着されていないと、「TC」、「UB」どちらに切り替えてもCTL表示になります。



2 TIME CODEモードスイッチの設定を行います。

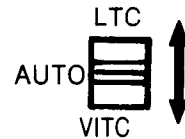
LTC：リニアトラックCH2に記録されているタイムコード信号を読み取ります。

AUTO：ダイヤルメニュー項目NO.5002で選択されたモード(LTCまたはVITC)を優先的に読み取ります。

VITC：VITCだけを読み取ります。

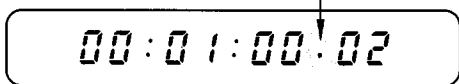
■各モード共、タイムコードが読み取れなくなった場合はCTL信号で補間します。

■EXT/INTスイッチを「EXT」に切り替えて、外部タイムコードを再生する場合は、「LTC」、「AUTO」、「VITC」に切り替えてもLTCしか読み取りません。



3 PLAYボタンを押します。

ディスプレイ表示



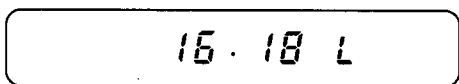
- (ドロップフレーム)
- (ノンドロップフレーム)
- (CTL信号で補間中)



4 PLAY中にVITCの挿入ラインを確認する場合。

CONTROLスイッチを「REMOTE」にし、RESETボタンを押します。

ディスプレイ表示



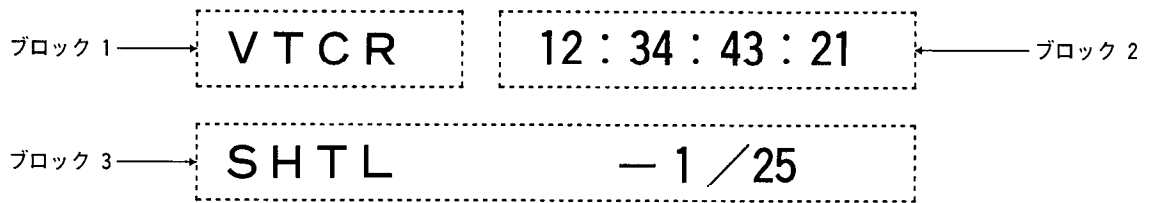
(VITCが16、18ラインに挿入されている場合)



スーパーインポーズ画面について

フロントポケット部にあるON SCREENスイッチを「ON」にすると、VIDEO MONITOR端子から出力される信号に、以下のようなスーパーインポーズ信号が付加されます。

- ダイヤルメニューモード中はスーパーインポーズ表示はされません。




ブロック 1

タイムコードモードを以下の略称文字で表示します。

CTL : コントロール信号	VUBG : VITCユーザーズビットのジェネレータ値
TCG : タイムコードジェネレータ値	LUBR : LTCユーザーズビットの再生値
LTCR : LTCタイムコードの再生値	VUBR : VITCユーザーズビットの再生値
VT CR : VITCタイムコードの再生値	EUBG : 外部ユーザーズビットのジェネレータ値
ETCG : 外部タイムコードジェネレータ値	
LUBG : LTCユーザーズビットのジェネレータ値	

ブロック 2

タイムコード値を時：分：秒：フレームで表示します。

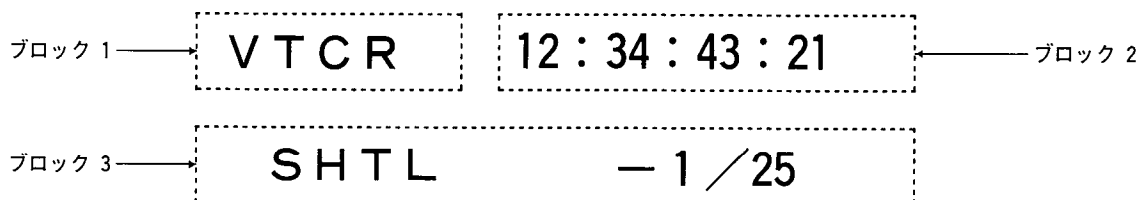
12 : 34 : 43  21

- ↑
- { : } = ノンドロップフレームモード
 - [.] = ドロップフレームモード
 - [] = タイムコード読み取り不可能

ブロック 3

VTRの動作モードを以下のように表示します。

EJECT (イジェクト)	EDIT (編集)
PLAY (再生)	EPLY (エディットプレイ)
REC (記録)	READY-OFF (レディーモード解除)
STOP (停止)	
FF (早送り)	
REW (巻戻し)	
STILL (一時停止)	



ブロック 3(つづき)

サーチ速度も表示します。

JOG xxxxx (ジョグ)

SHTL xxxxx (シャトル)

↓

xxxxx部分は、サーチ速度を表示します。

-1/25 ← テープ速度 (この場合ノーマル再生に対して1/25の速さで逆方向にサーチ)

↑

* : 正方向 / - : 逆方向

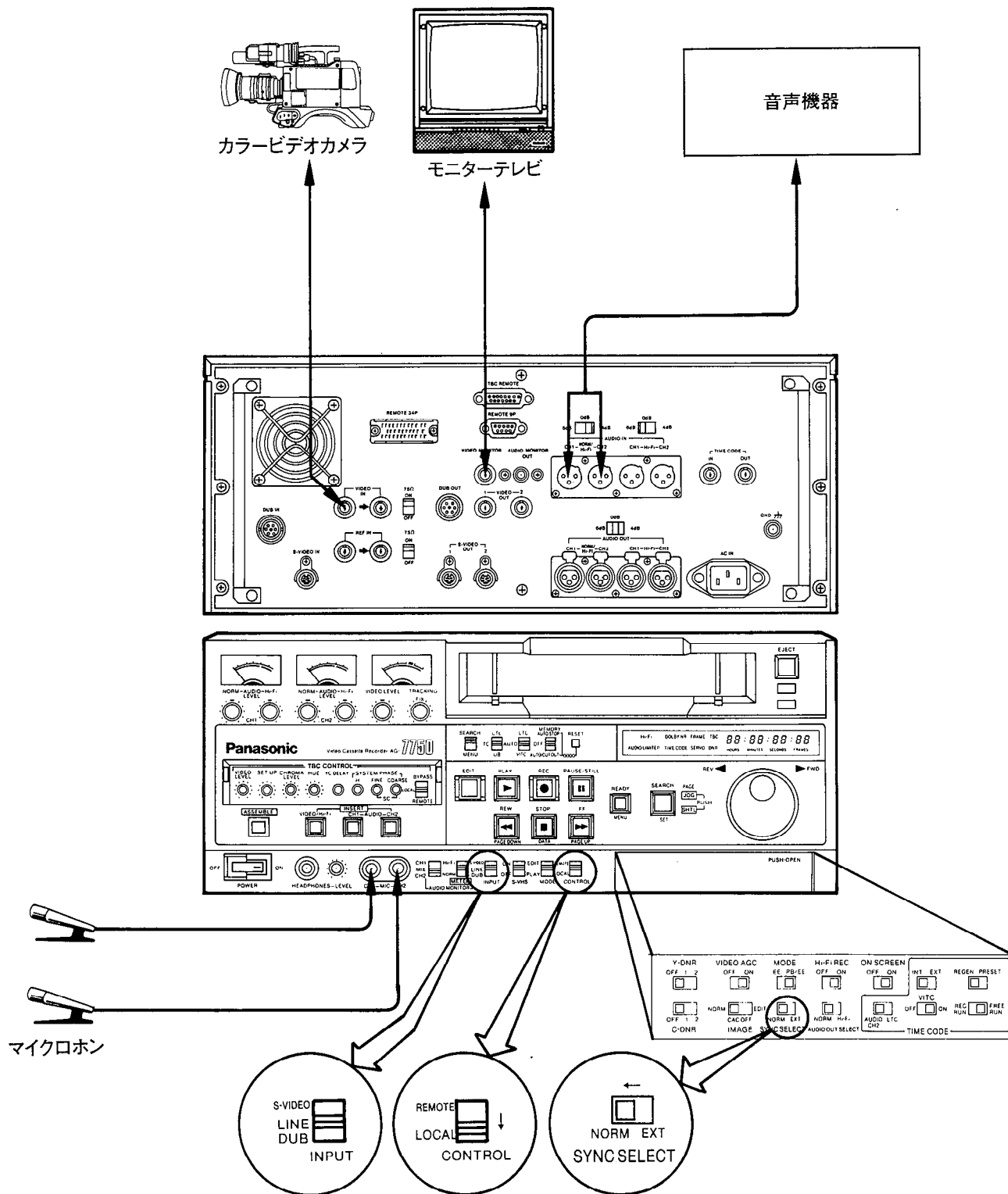
ご注意 ■ ブロック 3の表示は、ダイヤルメニュー機能(項目NO.2004)を「ON」に設定したときだけ表示されます。

参考 ■ ダイヤルメニュー機能(項目NO.2001)で、スーパーインポーズのバックグラウンドの状態を変えることができます。(42ページ参照)

■ ダイヤルメニュー機能(項目NO.2002, 2003)で、スーパーインポーズの表示位置を移動させることができます。(42ページ参照)

基本システムの接続

- 本機一台で、編集を行う場合の接続です。
- CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。
- AUDIO CH2/LTCスイッチは「AUDIO CH2」側にしてください。
(ただし、LTCのタイムコードにより編集をする場合は、「LTC」側にします。)



ダビング接続

本機2台で編集を行う場合の接続です。

ダビング接続で画質の良い順番は以下のとおりです。

1. ダビングケーブル(7P)使用
2. S-VIDEOケーブル使用
3. BNCケーブル使用

■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。

■AUDIO CH2/LTCスイッチは「AUDIO CH2」側にしてください。

(LTCのタイムコードをダビングする場合は、50ページを参照ください。)

■IMAGEスイッチは「EDIT」側にします。

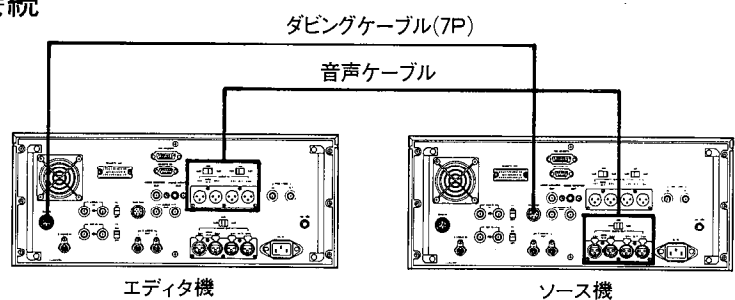
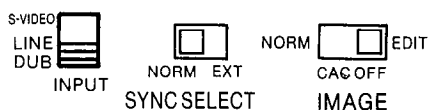
■YCフィルタは通常「ON」にします。(ダイヤルメニュー機能項目NO.1010)

1 ダビングケーブル(7P)使用時の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)



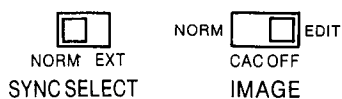
主なスイッチ設定(エディタ機側)



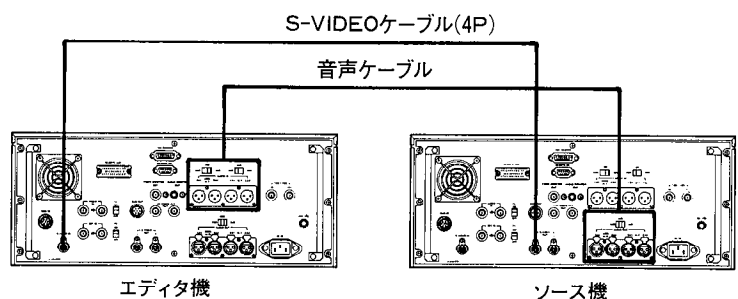
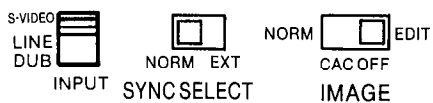
■ダビングケーブルを2本接続するとカラーが出なくなります。

2 S-VIDEOケーブル使用の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)

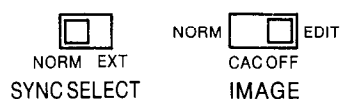


主なスイッチ設定(エディタ機側)

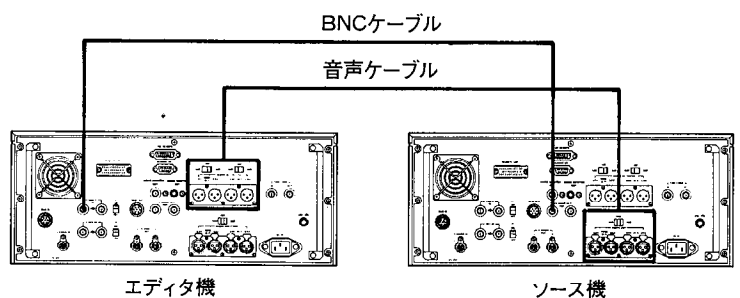
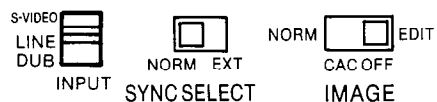


3 BNCケーブル使用時の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)



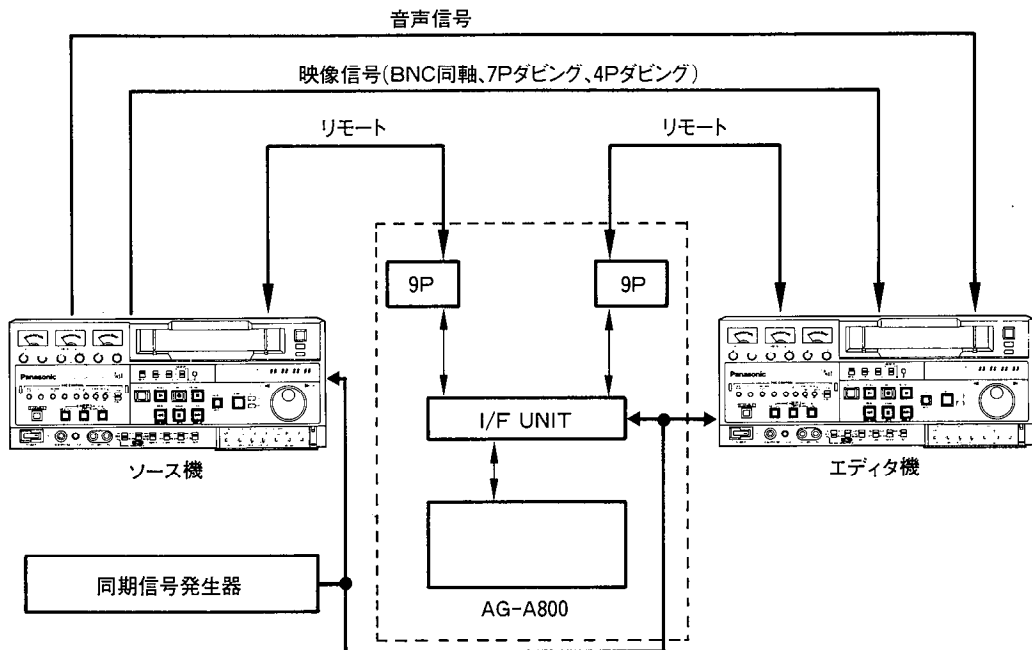
主なスイッチ設定(エディタ機側)



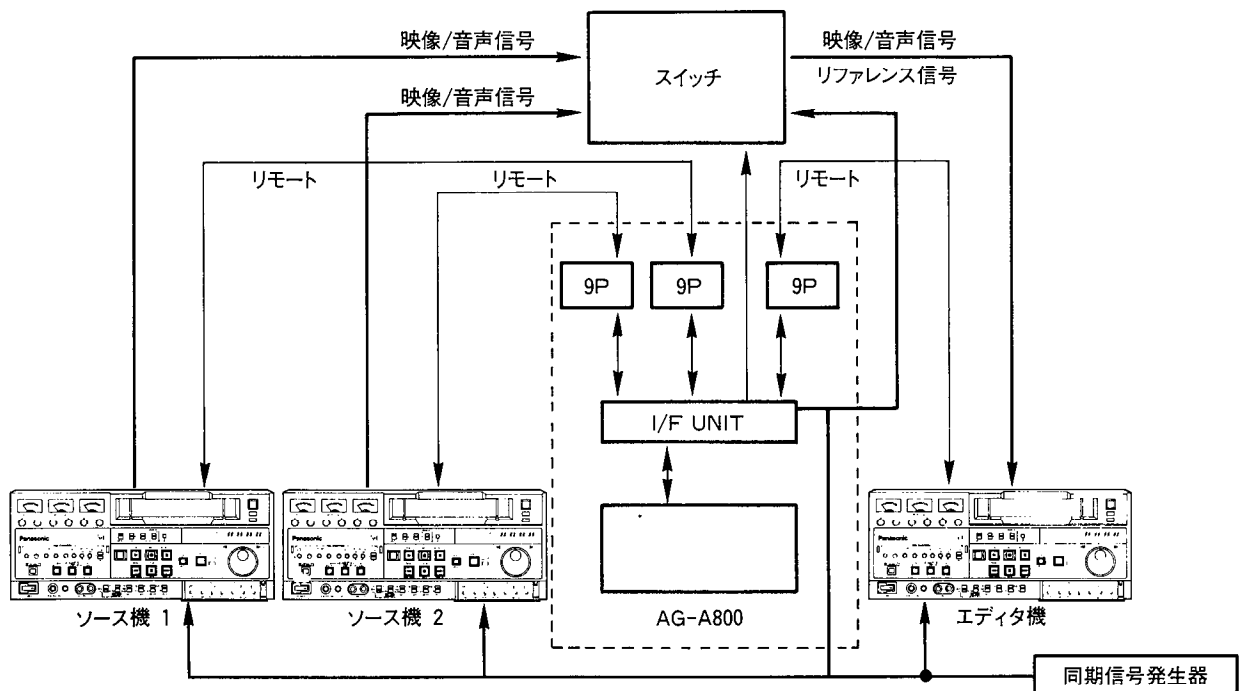
本機にAG-F700(別売品)を装着し、9P編集コントローラ(別売品)を使ってタイムコード編集を行うと、編集誤差のほとんどない精度の高い編集が可能です。

また、本機にはTBCが内蔵されていますので、システム編集時にTBCのめんどろな配線をする必要がありません。

エディタ機とソース機を1台ずつ使用したシステム



エディタ機一台とソース機を2台使用したシステム
(ABロール編集が行えます。)



9P 編集コントローラを使ったシステム

1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE(9ピン)端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。
- リファレンス信号の接続をします。

2 9P DEVICE TYPE SELECT(項目NO.3002)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

OTHER TYPES (セットアップNO.00)：松下製以外のコントローラを使用する場合
S-VHS ID (セットアップNO.01)：松下製のコントローラを使用する場合

3 REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「9P(セットアップNO.00)」に設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

4 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

5 編集コントローラ側で本機を操作します。

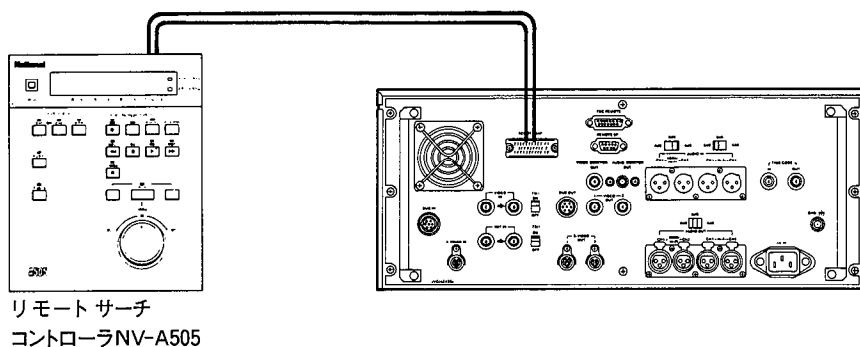
編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 9P編集コントローラの編集タイミングを8フレームに設定してください。
- 編集コントローラAG-A800を使用のときは、ダイヤルメニュー機能(項目NO.3002)「9P DEVICE TYPE SELECT」を「S-VHS ID」に設定します。
- カラーフレーミング機能のついた編集コントローラを使用する場合は、カラーフレーミングモードの設定をしないでください。
- 9P編集システムでファーストエディット操作を行う場合、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1007)ショートFFが「ON」でないで行うことができません。
- 9P編集システムでのインサート編集時の編集チャンネルはタイムコードとオーディオが独立して設定することができますが、本機の場合、リニアトラックCH2をタイムコード(LTC)とノーマルオーディオCH2で共用しているため、ポケット部のAUDIO SELECTスイッチでどちらの信号を編集するかを間違い無く選択してください。
- タイムコード編集を行う場合は、前面ポケット部のタイムコード部のスイッチ設定を「INT」「REGEN」「FREE-RUN」に設定してください。
- 9P編集システムを使用した場合、FF/REWはフルローディングになりますので、再生画の早送り・巻戻しになります。(ただし、テープ速度は32倍速です。)
- エディタ機側のMODEスイッチ(フロント側)を「EDIT」に、ソース機側を「PLAY」に設定してください。

リモートサーチコントローラを使ったシステム

本機に、リモートサーチコントローラNV-A505(別売品)を接続しますと、離れた場所から本機を操作することができます。



- 1 リモートサーチコントローラNV-A505をREMOTE(34P)端子に接続します。
- 2 REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「34P(セットアップNO.01)」に設定します。
ダイヤルメニュー機能で設定します。
- 3 34P SHTL MAX SPEED(項目NO.3004)を設定します。
ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラによって、操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。
10(セットアップNO.00)：10倍速
20(セットアップNO.01)：20倍速
- 4 34P CONTROLLER TYPE(項目NO.3005)を設定します。
ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。
TYPE-1(セットアップNO.00)：AG-A800、AG-A750
TYPE-2(セットアップNO.01)：AG-A650、NV-A500、NV-A505
- 5 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。
本機の操作ボタンは、(STOP、EJECTボタン)以外は作動しなくなります。
- 6 リモートサーチコントローラNV-A505を操作します。
NV-A505で操作できる内容は以下のとおりです。
 - アセンブル編集・インサート編集
 - 録画・再生
 - 早送り・巻戻し・停止・一時停止
 - JOGモードは作動しません。

参考

- ソース機を2台、3台同時に接続するシステムを組むときには、リモートサーチコントローラをインターフェースとして使用することができます。
- リモートコントローラAG-A600も使用することができます。この場合、4の操作で「TYPE-2」を選択してください。